

9

明治三十四年九月發行

修正體讀本字解 尋常小學用 全

東京 金港堂書籍株式會社

例言

一、本書ハ新體讀本尋常小卷五ヨリ卷八マデノ字句

二、例ヲ示シ意義ヲ略解シタルモノナリ。

三、本書ハ主トシテ生徒ノ讀本ヲ自修シ又ハ復習スルノ用ニ充

テ傍ス父兄ガ子弟ノ讀本ヲ自修シ又ハ復習スルヲ監督スル便

ニ供センコトヲ目的トシテ筆ヲ下セリ。

三、字句ノ解釋ハ簡易ヲ主トシタレトモ一言ニテ釋キ盡クシ

難キモノニハ間詳解ヲ附シタリ是ハ專ラ父兄ノ參考ニ充ツ

ヘキモノト知ルベシ。

四、字音假名遣ハ總ベテ文部省ノ新定スル所ニ據レリ。



修正新體讀本字解 尋常小學用

卷五

<p>二三丁 或る家 上田新一 とて 今年子</p>	<p>供學校庭遊び居たるが をば 私</p>	<p>代はり 口上書 認めなされ</p>	<p>三丁 承知 直ちに しばし やが</p>	<p>て 卷紙 左の如く 口上</p>	<p>差上申候 出来たり 状袋</p>
----------------------------	------------------------	----------------------	-------------------------	---------------------	---------------------

修正新體讀本字解尋常小學用

分 ブシ 一時間ヲ六十ニ分チタル一ツ、

XII

II

IX

〔八丁〕

カクノゴトク

コノ

過ギ トホリ コシ、

七番目 シチバン メ

サセリ

サシシメシテ ヲリマス、

サレバ

(シカ)

何時何分 ナンジ ナンブン

鳥 カラス

トクニ

ネグラ

トリノ子 ルトコロ、

人里 ヒトザト

雀 スズメ

スデニ

ス スムト (カ、) スミ

ヒロヘリ

ヒロツ テキル、

起出ヅル オキイ

共ニ トモ イツシ

ノボラヌ

〔九丁〕

大工 ダイク

道具箱 ドウグ バコ

荷ヒテ ニナ カタニカ ツギテ、

アナタ

來 キタ

レリ キマ シダ、

早起 ハヤ オキ アサハヤク オキルコト、

サワヤカ

朝起 アサ オキ

職業 シヨクギ ヲシゴ

仕事 シゴト ヲ

ハカドル 早ク デ

毎朝 マイチ ヲイマイ

朝起

職業

さかえゆき サカン ニナリ、

ハンジヨシ、

富貴 フイ キ

カネヤ、タカラガ多クアリ

長命 チヨウ メイ

ナガ イキ、

さいはひ シア ハセ

ヨキコト、

〔十丁〕

時を定めて トキ サダ

トキラ (一晝夜) キメテ、(二回)

遠く引きささり トホ ヒ

(オキノホ) (ヘシリヅキ)

近くよせきたり チカ ナ

ヲカ コチカ ヲリキタリ、

いさゝか イサ カ

スゴ シモ、

たがふ チガ フ、

しほ ウミン ミヅ、

毎年 マイ ネン トシ

至れば イタ バ

しほひ

海ノ水ノヒ キサルコト、(四月十四) (五日ゴロ)

ひること

引キサ ルコト、

常より ツネ イヨリ、

甚だしきことあり ハナハ ナ

タイソ オホイコ トガアリマス、

此の

頃は コ セツ、

此ノジ (四月十四) (五日ゴロ)

時候 ジ コイ

よろしければ ヨロシク ア

リマス カラ、

浅き處 アサ トコロ

拾ひ ヒロ

とらふる

しほひがり シホ ヒガリ

製ス <small>セイ</small> ル <small>ツク</small>	灰 <small>ハイ</small>	とく <small>コ、ヨリカシコニ</small>	て <small>カイ</small> 海 <small>チ</small> 中 <small>ニ</small>	ふ <small>フ</small> べ <small>ベ</small> き <small>キ</small> もの <small>モノ</small>	のがれんとする <small>ニゲヨウ</small>	か <small>カ</small> も <small>モ</small> め <small>メ</small>	晴 <small>ハ</small> れた <small>レ</small> る <small>ル</small> 日 <small>ヒ</small>	沖 <small>オキ</small> の方 <small>ホ</small>	望 <small>ノゾ</small> め <small>メ</small> ば <small>バ</small>
〔十二丁〕	これ <small>ハヒ</small>	生 <small>ナマ</small> 煮 <small>ニ</small> て <small>テ</small>	附 <small>ツ</small> き <small>キ</small> あ <small>ア</small> ふ <small>フ</small>	なかく <small>ナカ</small>	なか <small>ナカ</small>	貝 <small>カヒ</small>	日 <small>ヒ</small> ヨ <small>ヨ</small> キ <small>キ</small> 日 <small>ヒ</small>	方 <small>ホ</small> カ <small>カ</small> タ <small>タ</small>	望 <small>ノゾ</small> め <small>メ</small> ば <small>バ</small> ム <small>ム</small> レ <small>レ</small>
岩 <small>イハ</small> 大 <small>オホ</small> キ <small>キ</small>	に <small>ニ</small> て <small>テ</small>	味 <small>アヂ</small> ハ <small>ハ</small> ヒ <small>ヒ</small>	う <small>ウ</small> つ <small>ツ</small> り <small>リ</small> う <small>ウ</small>	中 <small>ナカ</small> に <small>ニ</small> も <small>モ</small>	類 <small>ルイ</small>	か <small>カ</small> れ <small>レ</small> ひ <small>ヒ</small>	オ <small>オ</small> キ <small>キ</small> ノ <small>ノ</small>	方 <small>ホ</small> カ <small>カ</small> タ <small>タ</small>	望 <small>ノゾ</small> め <small>メ</small> ば <small>バ</small> ム <small>ム</small> レ <small>レ</small>
とりつき <small>カタクス</small>	し <small>シ</small> つ <small>ツ</small> く <small>ク</small> ひ <small>ヒ</small>	味 <small>アヂ</small> ハ <small>ハ</small> ヒ <small>ヒ</small>		中 <small>ナカ</small> に <small>ニ</small> も <small>モ</small>	類 <small>ルイ</small>	か <small>カ</small> れ <small>レ</small> ひ <small>ヒ</small>	オ <small>オ</small> キ <small>キ</small> ノ <small>ノ</small>	方 <small>ホ</small> カ <small>カ</small> タ <small>タ</small>	望 <small>ノゾ</small> め <small>メ</small> ば <small>バ</small> ム <small>ム</small> レ <small>レ</small>
か <small>カ</small>		味 <small>アヂ</small> ハ <small>ハ</small> ヒ <small>ヒ</small>		中 <small>ナカ</small> に <small>ニ</small> も <small>モ</small>	類 <small>ルイ</small>	か <small>カ</small> れ <small>レ</small> ひ <small>ヒ</small>	オ <small>オ</small> キ <small>キ</small> ノ <small>ノ</small>	方 <small>ホ</small> カ <small>カ</small> タ <small>タ</small>	望 <small>ノゾ</small> め <small>メ</small> ば <small>バ</small> ム <small>ム</small> レ <small>レ</small>

た <small>タ</small> づ <small>ヅ</small> ぶ <small>ブ</small> り <small>リ</small>	く <small>ク</small> なり <small>ナリ</small>	其 <small>ソノ</small> の <small>ノ</small> 肉 <small>ニク</small>	もの <small>モノ</small> の <small>ノ</small> な <small>ナ</small> れ <small>レ</small> ば <small>バ</small>	入 <small>イ</small> 海 <small>カイ</small>	似 <small>ニ</small> テ	香 <small>カ</small> 柔 <small>ニ</small> 力 <small>リキ</small>	ム <small>ツ</small> ミ	時 <small>ジ</small> 節 <small>セツ</small>	ウ <small>ウ</small> タ <small>タ</small> ヒ <small>ヒ</small> ツ <small>ツ</small>	セ <small>セ</small> イ <small>イ</small> ロ <small>ロ</small> ー <small>ー</small>
た <small>タ</small> づ <small>ヅ</small> ぶ <small>ブ</small> り <small>リ</small>	く <small>ク</small> なり <small>ナリ</small>	其 <small>ソノ</small> の <small>ノ</small> 肉 <small>ニク</small>	もの <small>モノ</small> の <small>ノ</small> な <small>ナ</small> れ <small>レ</small> ば <small>バ</small>	入 <small>イ</small> 海 <small>カイ</small>	似 <small>ニ</small> テ	香 <small>カ</small> 柔 <small>ニ</small> 力 <small>リキ</small>	ム <small>ツ</small> ミ	時 <small>ジ</small> 節 <small>セツ</small>	ウ <small>ウ</small> タ <small>タ</small> ヒ <small>ヒ</small> ツ <small>ツ</small>	セ <small>セ</small> イ <small>イ</small> ロ <small>ロ</small> ー <small>ー</small>
た <small>タ</small> づ <small>ヅ</small> ぶ <small>ブ</small> り <small>リ</small>	く <small>ク</small> なり <small>ナリ</small>	其 <small>ソノ</small> の <small>ノ</small> 肉 <small>ニク</small>	もの <small>モノ</small> の <small>ノ</small> な <small>ナ</small> れ <small>レ</small> ば <small>バ</small>	入 <small>イ</small> 海 <small>カイ</small>	似 <small>ニ</small> テ	香 <small>カ</small> 柔 <small>ニ</small> 力 <small>リキ</small>	ム <small>ツ</small> ミ	時 <small>ジ</small> 節 <small>セツ</small>	ウ <small>ウ</small> タ <small>タ</small> ヒ <small>ヒ</small> ツ <small>ツ</small>	セ <small>セ</small> イ <small>イ</small> ロ <small>ロ</small> ー <small>ー</small>
た <small>タ</small> づ <small>ヅ</small> ぶ <small>ブ</small> り <small>リ</small>	く <small>ク</small> なり <small>ナリ</small>	其 <small>ソノ</small> の <small>ノ</small> 肉 <small>ニク</small>	もの <small>モノ</small> の <small>ノ</small> な <small>ナ</small> れ <small>レ</small> ば <small>バ</small>	入 <small>イ</small> 海 <small>カイ</small>	似 <small>ニ</small> テ	香 <small>カ</small> 柔 <small>ニ</small> 力 <small>リキ</small>	ム <small>ツ</small> ミ	時 <small>ジ</small> 節 <small>セツ</small>	ウ <small>ウ</small> タ <small>タ</small> ヒ <small>ヒ</small> ツ <small>ツ</small>	セ <small>セ</small> イ <small>イ</small> ロ <small>ロ</small> ー <small>ー</small>

ムスニ用フ ルドーグ、	少シ	ホイ口	茶ナドカワカスニ 用フルドーグ、	〔十四丁〕	製茶
ノムトキニ ツカフチヤ、 (製シタ ル茶)	店	賣ル	目方	秤品皿	シカ
ト	持チ	定メ	一匁	〔十五丁〕	合
ハセ	ドーク	ワ	凡ソ	一貫	一斤
鐵瓶	はや	けぶり	立昇れり	湯	
湯氣	立昇らん	動き	盛ん	〔十六丁〕	
火箸	のすとも	なほ	やまざるべし		
しまりに	熱	蒸されて	蒸氣機		

械	仕事	走らす	蒸氣車	鐵道	〔十七丁〕
荷車	後	客車	起す	釜	造りか
た	同じ	からず	室	乗り	一等二
等二等	汽車	〔十八丁〕	歩めば	また	くひ
ま	千里	五晝夜	到る	を得べ	
し	工夫	貴キ	發明		
しらざり	千里	こゝろ	ざす地		
つくど	かし	下	涼シキ		

〔千九丁〕

單物

オモテバカ
リノキモノ、

洗ヒ

話

始メ

何

御

坐イマス

此ノ間

アヒダ
ゴロ、

〔二十丁〕

洗ヒ上ゲ

日向

物

着物

善イ

洗ヒ上ゲ

日向

物

干竿

トゾ

次第

第二

アトカタ

〔三十一丁〕

イヅコ

行キシカ

見エネド

太陽

空中

冷ユル

水玉

集マリ

〔三十二丁〕

サラニ

大粒

落ツ

ツヒニ

見エズナリ

行クヘ

消失スル

過ギザルヲ知ル

ベシ

うちほろぼして〔三十三丁〕

或る高貴の人

軍の話

大江匡房

學者

別室

をしいかな

兵法

ひとり言

怒る色

從者

いさどほり

いざあらん

鎮守府將軍

住人

兩人

命

鎮守府ハ、始メ陸前ノ多賀城ニ設ケラレタリシガ、後陸中ノ膽澤城ニ移サレタリ、賴義、義家ノ頃ハ、膽澤城ナリキ

イヒ ツケ **金澤**のとりで

今ノ羽前ノ金澤ナリ、とりでトハ、竹木ナドヲタテヨコニアラククミダテタルモノニシテ、テキガ入ルコトノデキヌヨニシタルモノナリ、

イクサノホーヲ カイタ本ニ、**亂** **起**せり

ソラト **空飛**ぶかり

ヘイホー **兵法**に

ガニトビタツハ、アタリニ **敵** **軍兵** **見出**ししかば

フクヘイ **伏兵**

オモツタ **鳥の起**つは**伏**なり

フセゼイガアルノデアル、

サダ **定**めて

フクヘイ **伏兵**

オモツタ **はた**して

テキ **敵**

ガン **軍兵**

ミダシマ **見出**ししかば

アヤフ **危**き

サイナシニ

オビタ **生立**ちたり

ケイテイ **兄弟**

シマイ **姉妹**

ウ **生**ま

オビタ **生立**ち

シタ **親**しみ

タニシ **他人**

キヨーダイ **兄弟**

ホド **程**

チカラ **たのも**しき

シタシム **な**つかしき

アヒ **相愛**し

アヒ **相**うやまひ

コト **事**あらば

ツタナ **心**をつくし

アヒ **相**なぐさめ

アヒ **相**

タス **助**け

コイキヨ **皇居**

マモ **守**り

シヨク **職**

ニニ十五丁

ブシ **武**士

イキホヒ **勢**

シバ **しば**く

ヤぶれける

ヨシ **よ**し

キコ **聞**えたり

ヤス **安**からぬこと

イト

マケタ **ま**をこひて

チヨウテイ **朝**廷

コナ **心**ならずも

ホナイデ

カン **感**じ

オメニ **見**ゆる

コナ **心**地す

トモ **共**に**進**

キン **金**銀銅鐵

イッ **何**レモ

キン **金**屬

光	如シ	種々	黄色	黄金	白色
ヒカリ	ゴト	シユク	コシヨク	オウゴン	ハクシヨク
シロ	三十七丁	中	ワケテ	貴キ	貨幣
イロ	イロ	チユウ	シテ	タウト	クワヘイ
モノラウリカヒスルト	時計	一錢	二錢等	スグレ	リン
モノラウリカヒスルト	ケイ	イツ	ニ	テヨキ	エン
キニ、モチフルカネ	一	セン	セン	カダ	カダ
毛位	灰色	空気中	最モ	イモノシ	カチ
モ	ハヒイロ	クキチユウ	モツト	イチ	カチ
クラキ	ナイロ	空気ノアル	パン	イモノシ	カチ
ダシテ	直チニ	墨色	打チノバシ	刃金	カチ
オケバ	スグ	イロ	カナヅチニテ	タヘタル	カチ
ナベ、カマナド	イガタ	スミイロ	タ、キノバシ	遠キムカシ	カチ
ヲコシラヘル人	スナニテ、ナベ、カマナドノ	クロ	カタチヲ、ツクリタルモノ	小刀	カチ
ヤ	テツラウチノバシテ、コガタナ、	最モ	カタチヲ、ツクリタルモノ	庖丁	カチ
モノニテ、テツ	ホトチヨウ	パン	カタチヲ、ツクリタルモノ	鋤	カチ
ヨリカダシ	コガタナ	モノ	カタチヲ、ツクリタルモノ	鉄	カチ
伐リ	刈リ	起ス	能ハズ	女子	タ
キ	カ	ホリオ	ス、	ナ	タ
カシ	オホム	コス	アタ	女子	タ
チ	キリハ	切ル	必要	終ニ	タ
ナシ	ナシ	ム	セツ、	終ニ	タ
菜肉	ニクルイ	必要	セツ、	終ニ	タ
サイニク	ニクルイ	ヒツヨク	セツ、	終ニ	タ
ハ	ニハ	鐵造リ	鐵バリ	終ニ	タ
シマヒ	ニハ	テツニテコ	鐵バリ	終ニ	タ
ニチヨウ	ニハ	シラヘタル	鐵バリ	終ニ	タ
日用	フル	中山次郎	少年	終ニ	タ
ニチヨウ	フル	ナカヤマジロウ	シヨウネン	終ニ	タ
富士山	登山	暑さはげしく	候處	終ニ	タ
ヤスミ	フジサン	アツ	サフラウ	終ニ	タ
休	フジサン	暑さはげしく	候處	終ニ	タ
アツサガ、ハゲシ	フジサン	アツ	候處	終ニ	タ
クアリマスガ	フジサン	アツ	候處	終ニ	タ
御	フジサン	アツ	候處	終ニ	タ
此の程	富士登山	思立ち候に付	御	終ニ	タ
ホド	フジサン	ツキ	御	終ニ	タ
同行如何に候か	フジサン	ツキ	御	終ニ	タ
ドウコウ	フジサン	ツキ	御	終ニ	タ
如何に候か	フジサン	ツキ	御	終ニ	タ
ナサイマセヌカ	フジサン	ツキ	御	終ニ	タ
思召の程	フジサン	ツキ	御	終ニ	タ
オボシメシ	フジサン	ツキ	御	終ニ	タ
程相伺申候	フジサン	ツキ	御	終ニ	タ
ホドアヒウカヒマウシフアラウ	フジサン	ツキ	御	終ニ	タ

オボシメシラオウ カヒマウシマス、	上田新一様	状袋表	先方	居所
裏宿所	三十三丁	肩	投ゲ入レ	翌日
早速	御手紙拜見致候	かねて		
より	望居る儀に候ま、	御同行		
仕度存候	猶	出立の日限等		
参堂の上	承り申すべく候	敬		
支度伴ヒテ	宅	フモト	立	
止り	三十一丁	仰ギ見ツ、	伏セ	

サヨ一サ	カネぐ	扇	倒サマ	
三十二丁	餘程	日本有名ノ高山	高サ	三十四町
尺	オドロクベキ數	三十三丁	到リ	
翌朝	各	下山	左ノ文	富士のみね
を得て	親友	富士のみね	むろ	晴れ心地
そびえて	けはしき			
三十四丁	やどりて			

さわやかなり

サバクト
シマシタ、

一昨日

イツサクシ
ツトモイフ、

通り來りし

宿々

シユクド
ヤドヤノア
ルマチク、

渡りこしし

ワタリ
テキタ、

さだかに

唯目に入る

カチ
近きあたり

廣き

海原

コ
古人

歌無事

みね

富士のね

能く乾か

半紙

近傍

枝皮

本數本

先づ

蒸し

歸りぬ

廣く用ふる

楮

し

三三六丁

灰汁

ちり

棒

もち

とろゝあふひ

汁米のり

少し

んぴ

交へて

すく

隣

諸國

第一とす

戸の城主

物事

ふじゆー

りしかど

みだりに

物を費さず

モノヲツカヒステヌ、
されはしカタハシ、
ものすらモノデモ、
大事ダイシタイセツ、

三十七丁 せられたりサレマシタ、
召仕メシツカヒの女子ヲナゴソバチカクツカフ

トコロノ女ノホーコ一人、
深フカき心ココロクカンガヘタコ、ロ、
知らシらでシラナ(シラズ)をし

げもなくヲシイト思フヨースモナク、
深フカく之コレをうれへてタイソ一召仕ノ女子ガヲシゲモナク

カミヲツカフコトヲシンバイシテ、
それとなくナントモイハズダ、
製紙場セイシシヨ一カミスキバ、
参マキれケ、

北風キタカゼ見ミにしみてミニトホリテ、
たゞ見るだにも見ルバカリデサヘ、

すあしハダシ、アシニハキモノナキコト、
水中スイチユ一ミツノナカ、
半ナカばハンブン、
働ハタラきハタラ苦クルし

みギ、ナン、
其ソの通トホりソノヨ、
たんせいしてコ、ロライレテ、
いま

しめられたりイヒキカセラレマシタ、
實ゲにことわりとマコトニド一リアルコトト、

思オモひけんオモツタノデアリマセウ、
三十八丁 たえてスコ(二向)なシモ、

かりきとぞナカッタトイフコトデアル、
紙カミにも限カギらずカミバカリデハナク、
手テ數カズ

テスウト(物事ヲスルニ、モイフ、次第ノ多キコト)
骨折ホネヲリハタラキ、
たやすからぬヨ一イデナイコト、

卷六

三丁 秋アキ涼スイシク 菊キク梨ナシ柿カキ甘アマキ 熟ジュクスルツユ、ウム、

(實ガ入リテ食フベキヨ一ニナルヲツユ又ハウムト云フ)
朝夕アサユフチヨ一セキトモヨム、
ヤウヤットく マガ

キツダ、竹ナドニテサツト作リタルカキネ、
サケルサキアル、
形カタチヤスコ、
三丁 末スエ

紅葉シテ	初茸松茸	生工	景色
茸がり	袖初紅葉	こずる	色づき
て	とりぐくに	あかぬ	「四丁」
好ミテ	果物	葡萄實ヲ結ブ	味
水分	一フサ	青色	起ス
「五丁」	運動	すこやか	務むべ
し	すわりこみ	やうやく	お
とろへて	あかつき	養生	害

怠らず	思を苦しむる	亦
常々	心を平かにし	思を少くし
て	怒	慾
「六丁」	神代	皇祖
治め	おぼし	召し
の國	豊葦原の瑞穂	吾
が子孫	世々	君たるべき
汚れ	務めて	清くすべし
		思を苦しむる

地なり 天子デアルハズ
ノトコロデアル、

のたまひ オホセ
ラレ、

御鏡 八咫鏡、昔天照大神、天
岩屋ニ籠リタマフトキ、

三種 イシゴリ
伊勢許理度靈命ノ作りタルモノニ
テ、今伊勢ニ奉祀スル神鏡是ナリ

三種 サンシノ
ミクサト（鏡、劔、玉ノ三種ナリ、劔ハ天叢雲劔トイフ、昔
素戔鳴尊、八岐大蛇（兇徒ノコトナリ）ヲ斬リシト
キ、其ノ尾端ヨリ得シモノナリトイフ、又玉ハ八坂瓊曲玉
トイフ、其ノ状屈曲シテ柄輪ノ状ノ如シ、今現ニ宮中ニアリ、）

さづけて ソバニキテタ
イセツニセヨ、

魂 ミタマ
（タマ
シヒ

御位 ミクラキ
ミ

さかえまさん

こと ハンジヨ
ナサルコト、 天地とまきはまりなかるべし 天地トトモ
ニカギリナ

おほせられさ オホセラ
レマシタ、

降りたまひ オンオリ
ナサレ、

日 ヒウ
ウ

向三世 ガ
サンセイ
（父子相繼グラ世トイフ、三世トハ瓊々杵
尊、彦火々出耳尊、鸕草葺不合尊ヲイフ、）

宮居 ミヤキ
オスマヒ
ナサレテ、

道す ミチ

命 メイ
オホ
シタガ

従はざる ウチタヒラ

討平げ ツヒ

遂に トウ

〔七丁〕 ホロボ
ウチコロシテ
ナキモノニシ、

宮 ミヤ
ゴテ
ラヘ、

皇威 コウイ
天皇ノゴ
イコ、

四海 シ
カイ
四方、

かどやき 日ノガ、ヤクヨニ、ゴ
イコ、ガ四方ニオヨビ、

皇恩 コウオン
天皇ノ
ゴオン、

あま

ねく ドコ
ヘモ、

地圖 チ
ツ
チメンノカタチ
ヲカキタルモノ、

我等 ワレラ
ワタク
シドモ、

住メル ス
メル
ラル、

天 テン

ヨリ ウヘン
方カラ、

見下シ ミ
オロ
ミル、

見ツブシニ ミ
タヒ
ラニ、

畫ケル エガ
ケル

〔八丁〕 エニカイ
テアル、

北海道 ホク
カイ
ド

本土 ホン
ド

横タハ ヨコ
タハ

レリ ヨコニナ
リテアル、

四國 シ
コク

以上 イ
ジョ
リマヘ、

四大嶋 シ
ダイ
ト

本領 ホン
リョウ
モト
リョウ

地 チ
リョウ

中央 チュウ
オウ
ナカ、

離レ ハナ
レ

清國 シン
コク
シナ、

兵チマ ヘイ
チマ

シヘテ イクサ
ヲシテ、（兵ヲタ、
カハセテ）

和議 ワ
ギ
ナカナホリ
ノサウダン、

成ルニ及ビテ ナ
オヨ
デキア
ガツテ、

加へテ	數多クアリ	千島諸島	周圍	周
ル	圍ム	向ヒ岸	狹キ	朝鮮國
陸地	〔千丁〕	山河ノ位地	因リテ	
市	東海、東山、北海、山陽、南海、西海道	良		
キ港	陸前	臺北府、臺南府	〔十一丁〕	基隆
淡水	全國	千餘里	幅	他
土地	農業	〔十二丁〕	盛	二行ハレ
産スルコト	生糸	業	材木	

レバ	衣食住	鳥獸	業	獵
師捕ラフル	重ナル	鳥	山鳥	獸
羽毛	食用	〔十三丁〕	全身	生
物	首	長ケ	ヤ、	角
供ス	體	肥エ	豚	牙
〔千四丁〕	虎	山野	猫	黃色
たぐましく	うそ	ぶけば		

他の獸

ケモノ、ホカノ、ケモノ、

家畜

カ、チク、家ニカフケモノ、牛、馬、ブタナド、

加藤清正

カト、ト、キヨ、マサ、チヨ、セン

朝鮮陣

チヨ、セン、ヤ、デン

千五丁

メシツカ

召仕ふ少き家來

ライ、(小性、カウヅキ、左膳、上月)

もよほした

り士卒

ハジメ、マシタ、シ、ソツ

かこみて

トリマ、イテ、

かりたて

オヒ、ダシ、一

匹の猛虎

ビキ、モ、コ、イツビキノ、ツヨイトラ、

はるか

トホ、カク、

かなた

アチラ、ノホ、鉄砲

向い遠き

ム、トホ、トホキ、トコロ、

仕損ずる

シソコ、ナフ、

おそれあり

シンバイ、ガアル、

差しひかへよ

サ、マツテ、オレ、

自ら

ミツカ、ジブ、チカ

近づく

ツバ、キタル、爪開

き弾丸

アキ、ダン、ガン、テツポ、ノタマ、

一發

イツ、ヒト、ウチ、

景行天皇の御代

蝦夷

エミ、エゾトモイフ。地名ニアラズ一種ノ人種ノ名ナリ、上世ハ關東、奥羽ノ邊ヨリ蝦夷ガ島(今ノ北海道)ニ棲ミタリ。今「アイノ」トテ、北海

道ニ樓ム、身ニ毛多ク、文字ナク、衣、食、住、風俗言語等特ニ異ナリ

千六丁

亂を起し

ラン、オコ、ソ、ド、ヲハジメ、

かす

め

ウバヒ、トリ、

なやまし

イタメク、ルシメ、

請ひ

子ガ、フカ、

深く感じて

タイ、ソ、

任せたまへり

マカ、ンシテ、

勇みて

イサ、イキホヒガサ、カンニナリテ、

都

ミヤコ、天皇ノオスマヒ、アリバストコロ、

伊勢の大神宮

イセ、ダイジン、ハイ、

身の守

マモリ、ホ、

寶劍

刀ニ似テ両方ニ、刃ノアルモノ

駿河國人

スルガ、コク、スルガ、ノ人、

いつはりて

ウツラ、イウテ、

歸服し

ウツラ、ツキシ、タガヒ、

獵

ケモノヲサガシモト、メテ、イコロスコト、

いざなひ奉り

タテマツ、オツレマウ、シアゲ、

風上

カザ、カミ、風ノフキ、オコル方、

千七丁

あたりの

身ニ近キ、トコロ、

なぎたふし

ヨコサマ、ニハラフ

火難

ヒノワ、(火ニテヤキコ、サハヒ、ロサル、コト)

彼等

カレラ、アノ、(駿河ノ國、人々、ワルモノ)

稱して

トナ(名ラツ)
ヘテ、(ケテ)

渡らん

海上
ウヘ、

大風起り
オホカゼカ
フキハジメ、

く

つがへらんとせり
ヒツクリカヘラウ
トシマシタ、

海神
ウミノ
カミ、

たゝり

奉る
ワザハヒラナ
シタテマツル、

千ひろ

(ひろトハ兩手ヲ左右ヘ伸ベヒロゲタル長サヲイフ、凡ソ六尺、故ニ千ひろノ水底トハ深キ水底トイフ義ナリ)

水底
ミナソコ
水ノ
シタ、

止みて

勢
イキホヒ
イコ、

降参し

諸國
シヨコク
オホク
ノクニ、

東

方
ホ
ヒガシ
ノ方、

望
ノヅミ
トホクウ
チナガメ、

吾妻はや

(吾ガ妻極媛ハカシコノ海ニシツンダガ實ニナゲカハシキコトデアルゾヨ)

東

國
ゴク
ヒガシ
ノクニ、
(武藏相模安房上
總下總常陸等、)

千八丁

賊
ムホノ
(天皇ニツム
トモガラ、ケルモノ)

たま

かくれさせたまへり
オカクレア
ソバシタ、
(天皇其ノ他、貴キ人ノ死スルヲカクルトイフ、カクレハ隠

仁徳天皇
ニントクテンノ
(神武天皇ヨリ
凡ソ千年ノ後)

祭れり
マツリ
アル、

社
ヤシロ
神ヲマツ
リタル家、

仁徳天皇

凡ソ千年ノ後

實のらざる
ミノナ
ラヌ、

一日

高殿
タカドノ
ニカイダテ
ノゴテン、

見わたし

トホクヒロ
クナガメ、

民家
ミンカ
ヒヤクシヨ
ノイヘ、

けぶり

あはれ

かしぐ

メシニ
スル、

かむにやあらん
カムノデ
アラ、ウカ、

諸税
シヨゼイ
イロクノト
リタテモノ、
(米、布ナドヲサマ、
又ハ夫トナリテハ

タラキナド
スルコト、

ゆるし
ヲサムルコ
トヲヤメ、

千九丁

かくて

朝
チヨ
カクアリテ、
ソレカラ、

テイ
ゴシ
ヨ、

御物
オモノ
天シサマノオツカ
ヒアソバスモノ、

とぼしくなり
タリナ
クナリ、

御衣
ギヨイ
天シ
サマ

ノ衣服ノ
コト、

程なりしかど
ホドデアツタ
ケレドモ、

こたび

雲の如
クモ
ゴト

く
タモノヨ
ニサカシニ、

朕は富めり
チン
ワレハモノモ
チニナツタ

御所
ゴシヨ
天皇ノオ
スマヒ、

のたま

ふ
オホセ
ラル、

いぶかしさよ
ウタガハシイコ
トデアルゾヨ、

仰せられき
オホ
イハ
レタ

ノ敬

人民

オホク
ノ人々

納め

皇居

天皇ノオ
スマヒ

いとなま

ツクリタ
テヤウ

願ひ

許されず

再三

はせまあり

物

ザイモ
タナド

人夫

ソク

日ならずして

イク日モタ、
ナイウチニ

二十丁

大御心

天皇ノオ
ボシメシ

はかり

カウデアラウト
シハカリ

天の下

御恩忘

るべからず

豆生活

必要

二十一丁

成熟

常食

酢餅

菓子種

大

麥小麥

農家

味噌

醤油

二十一丁 大

豆

粟黍 廣く

漢字

假名

支那より

傳はり

シナヨリワ
タリキタリ

行はる

用ヒラ

楷書、行書、草書

正しく

マツスグデ、マ
ガツテヲラヌ

略し

字ノカタチヲ
ノゾキヘラシ

省

讀本

平假名

片假名

書き改め

僧

空海 吉備真備

吉備真備ハモト其ノ名ヲ真吉備ト稱セシガ入唐シテ後、吉ノ字
ヲ省キテ真備トセリ、サレド其ノ稱呼ハモトニ同シカリキトゾ

發

明 言ひ傳ふ

渡りて

漢學

究め

修

め 傳へ

オノレノナラヒタルコト
ヲホカノ人ニヲシヘ

佛教

ホトケノ
ヲシヘ

究め

歸

朝 名僧

オノレノナラヒタルコト
ヲホカノ人ニヲシヘ

即ち

トリモナ
ホヤズ

學問

道徳

心タビシクゾヨ
ーギノヨキコト

共に高かりしは

ニツトモニ人ニタチ
コエテアツタノハ

勤め

セイヲ
ダシ

行ひ

ギヨ
ーギ

正ダイしかりしかはヨクアツ ねたみウラヤミテ、ニ しひてムリ

三十四丁イ射しめイサ いつの間マに習ナラひけん

弓矢ユミヤの業ワザ 善ヨくしてければジョーズデアツ

驚オドロきさて 止ヤめたり 大ダイ學ガク 卒ツツ業ギョー 任ニシぜら

文章博士モンシヨハカセ 讚岐守サヌキノカミ 任ニシぜら

れてヤクメヤマ いよくソノウヘニ 重オモく用トクひられ

右大臣ウダイジン 恩オンに感カンじ 天皇テンノウノゴオンノフカキ

益マス頼タノもしくタノミニナ 貴タフトびたり 二五丁ニサ左サ

大臣ダイジン 漸ヤウヤくダン 同類ドウルイ 事コトをかまへて

惡事アクシ 企クハガつるモク 免メンじてヤメ 退シリヅけたまふ

言コト 信シンじホント 免メンじてヤメ 退シリヅけたまふ

罪ツミ 日ニチ夜ヤ したシタひオモ つゆほど

怨ウラみ 日ニチ夜ヤ したシタひオモ つゆほど

甘味アマミ 砂糖サトウ 二六丁ニジュウロクテイ 海邊カイヘン 北野キタノ 鹽氣シホケ

溝ミヅ 方ホ形ケイ 砂濱スナハマ 四シ周シユウ 小コ

高タカキ 堤ツツミ 鹽田シホデン 汲クミ 小コ

ギオケハ

マイテ
オケバ、

程へテ

トキガ
スギテ、

固マリ

コシテ

サルノ
メヲク

四面

四方、

産スル

ツクリ
イダス、

「二十七丁」

古ヨリ

汁莖

チク、

フクム

モツテ
アル、

サラシテ

色ヲ白(腫シキ臭ヲノ
クシテ、)フキ、色ヲ白

料理

(野菜、肉類ヲキリキザミ、之
ヲ炭焼シテ味ヲツクルコト)

交へテ

シバ

ラク

通サヌ

桶

オホヒ

「二十八丁」

程へテ

熟シテ

汲出シ

麴

米ヲムシ
テ、カビ

白樽

固ヨリ

缺キガタキ

供

へ
自ラ

養生

理

後白河天皇

年(前)

保元(年)

元年(第一)

上皇

(天皇ノ御位ヲユヅリタ
マヒタル上皇トイフ、)

御

仲悪しく

ナカガオ
ワルク、

兩皇

「二十九丁」

御味方

合

戦

終ニ

讃岐

移され

經テ

戦

勢をふるひ

イセイヲ以テ
人ヲオドス、

高倉天皇

藤原成親

法皇

密に

押しこめ

親族

「三十丁」

家來

將に

館

長子(第一)

別

驚き

急ぎ

いさめんとし

あわ

たゞしく

アワテタル
サマニテ、

腹卷

(甲ノ一種。胴ノ製、腹ニ巻キテ、脊ニ合ハセ、別ニ脊板ト
イフモノアリテ其ノスキマヲ塞ク如ク作レルモノ、)

法衣

ホーイ
コロモ、ポーサン(清盛ハ此ノ時既ニ入道シテ淨海ト)
ノキルキモノ、(イヘリ、故ニ法衣ヲ着シタルナリ、)

事

コト
カズ
事の數にもあら

ず

ココロニカケルホ
ドノ事デモナイ、

本

モト
キ
聞きもあへず

涙

ナミダ
ナガ
涙を流し

皇室

天皇ノ
御家、

然るを

サヨイデ
アルヲ、

大恩

ダイオン
三十一丁

忘れ

苦しめ

如何に

イカニ
デゴザルゾ、

いかで

父上

御企

忠を致さん

忠ニ
イダ
致さんとするれば

不孝の子

不

忠ノ臣

進退

進退是きはまれり

願はくば

生きて

何かせん

願はくば

とむかくもせらるべし

とむかくもせらるべし

しぼりつゝ

盡くし

いはゆる

忠孝兩全

大軍

三十二丁

叛き

やがて

智勇

奏上

ひさる

聞えたり

うゑ

防がしめ

兵糧

たち

幼し

今度

詔して

おむむき

教訓

一言

留らば

たなふ

教

今度

三十三丁

一言

留らば

教

今度

三十三丁

一言

留らば

教

今度

天下テンカの分け目ワケメ

(天下即日本國ヲ分ケ定ムル合戦、(日本國ヲ尊氏ニト)
ラル、カ、又尊氏ヲ亡スカニツニ一ツノ大切ノ合戦)

死シ成ナ

る利リキ、

多年タネン

忠義チュウギ

天皇ノタメ、心ヲコメ
テ事ヲツトムルコト、

一門イチモン

從ジュウ

者シヤ

城旗シロハタ

懇ネンゴロ

歸カヘし

自身ジシン

、

三十四丁

兵庫

湊川

討死ウチシニ

テキトダ、カツ
テシヌコト、

神戸市

靈ミタマ

竹馬タケウマ

追オふ

長チヨウずる

劣オトらぬ

忠勇チュウユウ

テ、ツヨキコト、

守護シユゴ

臭ニホヒ

鼻折ハナサル

三十五丁

無味ムミ

無色ムシヨク

無臭ムシユ

功用コウヨウ

ハタ (人ナドノヨ)
ラキ、(ニダツコト)

アラユル

通路ツト

タテバ

人畜ジンチク

ケモノ、

息イキ 枝葉エダハ

オトロ口へり、

枯カレ

試コミ

ニシニ、

暫シバ

シワツカノ

止トメ

忽タチマチ

覺オボユベシ

通カヨへバ

消キユ 煮焼ニヤキ

生シヨウシ

吹竹フキダケ

三十六丁 炭スミ

火消壺ヒケシツボ

能ヨク

因ヨルコト

行ヤリ

種々シユククノ機キ

械カイ (龍吐水、唧筒、
ノド、(風琴ナド、)

利用リヨウ (リエキニナルヨ
ウニ用フルコト)

薪タキギモイフ、

石炭セキタン 伐キ

り三十七丁

山林サンリン

水氣スイキ

櫛ナラ 櫟クヌギ

堅カタ

キ上ジョウ 雜木サツボク

下ゲ 樹木ジュモク

水分スイブン

少スカク

幹ミキ (木ノカラダ、エダ
ノ出ヅルモト、)

強ツヨキ

汽船キセン

製造所セイゾウシヨ

物ヲコシラ
ヘルトコロ、

植物

草ヤ木
ノコト、

變動

カハル(場所ノ入レ)
コト(カハルコト)

上り

谷トナルニ

從ヒ

谷トナル
マ、ニ、

埋モレ

カク
レ、

三十八丁

面
オモ
テ、
木理

存セリ

モノマ、(ノコリ)
ニアル、(テアル)

義三郎

アイノ
スゲ

愛之助

少年
シヨウネン
ワカイ
モノ、

生年

ウマレドシ(セイ
ネントモヨム)、

睦しかりき

ムツマシ
クアツタ、

勤め

寄りあ

ひ

アツ
マリ、

二十一歳

満つれば

兵卒

來

れかしと

クレバ
ヨイト、

待ち居たり

マツテ
ヲツタ、

身體

検査

健

スコヤカ
ジヨウ

兵營

ヘイエイ
ヘイソツソ
キドコロ、

三十九丁

愚なる

憂へて

シンバ
イシテ、

道理

ミチ
スヂ、

軍隊

おきて

ちよーれん

イクサン
ケイコ、

はげみ

セイヲ
ダシ、

惜しむ

勇み

歩兵

アユミテタ、
カフ兵ソツ、

一等卒

歩兵ノ一バ
シノ下ノ兵卒、

士官

職

四丁

トドコホリ

滞なく

サハルコ
トナク、

兵役

卒へて

故郷

フル
サト、

志

慰勞會

懇にひてな

し

テイネイニチ
ソフヲナシ、

慰めたり

ナグサメ
マシタ、

大切

すめら御

國

日本
モノ、

武士

眞心

桑名貫一

四十一丁

サキタ
マヘ

先ち

尋常中學

卒業して

津市

伊勢ノ津ト
イフマチ

高等

教員

一年志願兵

自ラ願ヒ
出デテ

年ノ間兵卒ノヤクメヲスルモノ

三河

豐橋

職務

昇級

戰爭

出陣

許

楠公父子

血氣の勇

(年ワカキ人ノ心セキタテ一時ノイキホヒノマ、ニイサマシクフルマフコト) (カコノシク男氣ヲ出スコト)

はやりて

軍令

軍ノサシツ

後世

弟妹

麻

四十二丁

粗末

ヨキコシラヘニアラザルコト

手製

かたみ

戰場

見事

大日本帝國

威

光御盡力

ひとへに

旨

忠

君

愛國

厚さ

深く

返書

決

心

大戦

花々しき

名譽の戦死

レアルウチシニ

義により

忠に死す

務

セネバナラヌコト

いひながら

一家

稀に

美

談

眞に

修正新體讀本字解 尋常小學用

卷七

天皇、 モク、 ロミ、	一門 イチモン ルイ、	呼び集め ヨビアツ ハズ、	かへりみず オモ ハズ、	主上 シユジョ ハズ、	企て クハダ
天皇、 モク、 ロミ、	後醍醐天皇 ゴダイゴ タカトキ	高時 タカトキ	悪事 アクジ ムホン、	途中 トチユ ミチノ	待 マチ
天皇、 モク、 ロミ、	隱岐 オキ タメニオコスイクサ、	義兵 ギヘイ ワルモノヲホロボサンガ	途 ト	舟坂 フナサカ	御乘 オンリ
受け ウケ	迎へ ムカ スルコト、	同意 ドイイ 心ヲ一ツニ	播磨 ハリマ	境 サカヒ	舟坂 フナサカ
物 モノ 天皇ノノラセ タマフモノ、	通らせ給ふ トホ タマ	氣色 ケシキ ス、	急ぎ イツ	美作 ミマ サカ	御乘 オンリ
杉坂 スギサカ	從 <small>シタガ</small> 來れる者 キタ ツイテキ タモノ、	落し オト	急ぎ イツ	美作 ミマ サカ	御乘 オンリ
顏 <small>カン</small> を拜 <small>ハイ</small> して オノレノ心ノ ウチヲ申上ゲ、	行在所 アシ ザイシヨ カリノ ゴテン、 (御巡幸ノ時ノ カリノゴテン)	御庭 オニハ	忍び入り シン イ	美作 ミマ サカ	御乘 オンリ
顏 <small>カン</small> を拜 <small>ハイ</small> して 天皇ノオカホ (天皇ニ、御目 ヲオガミテ、 ドホリシテ)	己 <small>オノ</small> が心 <small>ココロ</small> の中 <small>ウチ</small> を奏 <small>ソウ</small> し オノ ココロ ウチ	御庭 オニハ	忍び入り シン イ	美作 ミマ サカ	御乘 オンリ
思ふ由 オモ ヨシ オモフ (心ニ思フ コト、 オモムキ)	夜明けて ヨ ア	漢字 カンジ	意 イ	尚 ナホ マダ、	御乘 オンリ
義 ギ タマシキミチス ヂラマモルコト、	頼 <small>タノ</small> むしく オホシメ	櫻 サクラ	名木 メイ ボク 名ダカイ キ、	尚 ナホ マダ、	御乘 オンリ
外國 グワイコク 日本ノホ カノクニ、	花 <small>ハナ</small> の名 <small>ナ</small> を專 <small>モツ</small> らに <small>ナ</small> する <small>ス</small> に <small>ニ</small> 至 <small>イ</small> れり イタ タハ ナトイ	櫻 サクラ	名木 メイ ボク 名ダカイ キ、	尚 ナホ マダ、	御乘 オンリ
薄赤 <small>ウスアカ</small> く 賞美 <small>ショウビ</small> せらるる ホメラ	五丁 <small>ゴテイ</small> 一重 <small>ヒトヘ</small> 八重 <small>ヤヘ</small> 以上 <small>イジョウ</small> ヨリ	櫻 サクラ	名木 メイ ボク 名ダカイ キ、	尚 ナホ マダ、	御乘 オンリ
天丁 <small>テンテイ</small> 千歲 <small>センザイ</small> に遺 <small>ノコ</small> し 千年ノノチ ニノコシ、	吉野山 ヨシノ ヤマ	櫻 サクラ	名木 メイ ボク 名ダカイ キ、	尚 ナホ マダ、	御乘 オンリ

キ

アリガタ
クオモフ、

御言葉

(今マデノ功ヲホメタマヒ、且汝ハ朕ノ身ニ取リテ大
切ノ家來ナレバ身ヲバ大事ニセヨトノオトバ、)

涙二

ムセビ

泣クコエツカ
ヘフサガリ、

御前

天皇ノ
マヘ、

一族

ルイ、

從者

ツキシタ
ガフモノ、

壁扉

あづさゆみ

(アツサユミトハアツサノ木ニテ作りタルユミノコトナレドモ、
歌ニ用フルトキハ「引ク、張ル、音、本、末」ナドイフ語ノ枕詞トナ
ル「此ノ歌ニ於テハ「いる即「射ル」ノ枕詞ナリト知ルベシ。但シ「な
まきかす」に「入ル」ナルヲ「射ル」ニ通ハセタルナリ。)

なまきかす

死ニタル
人ノウチ、

楠氏

忠誠

ヨミシ

「十一丁」

植ウル

名ツケ

植物

樂シマシムベキ

旨ク

材

器具

適スル

薪炭

植方

澤山

義

植替

幸

「十二丁」

妨グ

落

去リ

害

桑

必要

若し

農夫

蠶絹の糸

間

間に合ひ

終

「十三丁」

區別し

て

與ふべし

楮

黄色

幹

堅く

黄

ばみたり

木理

火鉢

曲げ

埋め

切離

して仕方

丈夫

選び

臺

切口

若木

「十四丁」

挿し

施し

見かけ

宜しから

ず

世を益

すること

驚くばかり

生立

語らん

産み

暖か

毛虫の兒

羽箒 <small>ハバ、ウキ</small> トリノハネヲツカネ テツクリタルハ、ウキ	〔十五丁〕 細 <small>コマカ</small> に 四眠 <small>シミン</small> 四回 <small>シクワイ</small>	眠 <small>ネムリ</small> 眠る毎 <small>ゴト</small> に ネムル タビニ、 薄皮 <small>ウスカハ</small> 食 <small>シヨク</small> をむさぼりて クヒモノ ヲアクマ	食 <small>シヨク</small> を絶 <small>タ</small> つ クヒモノヲクフ コトヲヤメル、 三角 <small>サンカク</small> 折 <small>ヲ</small> り はき <small>イダ</small>	〔十六丁〕 繭 <small>マユ</small> カヒコノ コモルス、 産 <small>ウ</small> み 大事 <small>ダイジ</small> タイ 貯 <small>タクハ</small> へ シマ	〔十七丁〕 ネリ ヤハラ カニシ、 染 <small>ソ</small> メ イロヲ ツケ、 機 <small>ハタ</small>	日光 <small>ニツコ</small> セノヒ カリ、 鍋 <small>ナベ</small> 生絲 <small>キイト</small> マユヨリ取りタルマ、 ニテネリアゲルイト、 輸出 <small>ユシユツ</small>	種紙 <small>タネガミ</small> 蠶卵紙 <small>サンランシ</small> 入用 <small>ニユーヨ</small> ヨリ 産出 <small>サンシユツ</small> コシラヘイ ダスコト、 眞 <small>マ</small>	年 <small>ネン</small> ツギノ トシ、 種紙 <small>タネガミ</small> 蠶卵紙 <small>サンランシ</small> 入用 <small>ニユーヨ</small> ヨリ 産出 <small>サンシユツ</small> コシラヘイ ダスコト、 眞 <small>マ</small>	綿 <small>ワタ</small> マユニテコシラ ヘタルワタ、 日光 <small>ニツコ</small> セノヒ カリ、 鍋 <small>ナベ</small> 生絲 <small>キイト</small> マユヨリ取りタルマ、 ニテネリアゲルイト、 輸出 <small>ユシユツ</small>	賣高 <small>ウリダカ</small> 〔十七丁〕 ネリ ヤハラ カニシ、 染 <small>ソ</small> メ イロヲ ツケ、 機 <small>ハタ</small>	織り得 <small>オリエ</small> タル 綾 <small>アヤ</small> アヤヲオリイダ セル美シキキヌ 錦 <small>ニシキ</small> 五シキノ糸ニテ種々ノモヨ ヲオリイダセル、厚クシテ最モ	縮緬 <small>チリメン</small> ヨリタル糸ニテオリ、後ニ 練リテチマセタルキヌ ナ、コ 織目、密ニ斜ニ打違ヒテ見ユ、小 キ粒ノ連ナルコト魚ノ子ノ如シ	美シキ キヌ 斜子、又ハ七 子トモカク 甲斐絹 <small>カヒキ</small> 厚キキヌノオリモノ、綿、無地ノ品アリ、 甲斐ノ國郡内ヨリ製出ス(海氣トモカク) メイセン セイ ツ イ ツ イ	絹 <small>ルキヌ</small> 粗ナルマユヨリ紡ギ取り タル糸ニテオレルキヌ 太織 <small>フトオリ</small> フトオリ 粗ナル絹糸ニ テオレルキヌ 製造 <small>セイゾ</small> セイ ツ イ	膚 <small>ハダ</small> ハダ 人ノカラ ヤハラ 柔力 <small>ヤハラ</small> 快ケレ 防グ 人體 <small>ジンタイ</small> ヒトノ カラダ、	オホヒ ツバ 温 <small>ラン</small> アタ、 カミ、 性質 <small>セイシツ</small> モチ マヘ、 熱ク 金物類 <small>カナモノルイ</small> シヨ イ	據 <small>コ</small> 〔十八丁〕 木竹 <small>ボクチク</small> キヤ スエ サキ、 ホトンド タイ ガイ、	傳 <small>ツタ</small> ハル 導力 <small>ミチビ</small> ザル 麻 <small>アサ</small> 導 <small>ミチビ</small> キ易ク 毛織 <small>ケオリ</small> ラシヤ、フラネ ルナドノコト、	寒中 <small>カンチュウ</small> 冬ノウチ、最 モサムキ時節、 綿入 <small>ワタイレ</small> ワタライレ タルキモノ、 自ラ <small>オノツカ</small> シセ	體温 <small>タイオン</small> カラダノア タ、カミ、
--	--	--	--	--	---	---	--	--	---	---	--	--	--	--	---	---	--	--	---	--

寒中 <small>カンチュウ</small> 冬ノウチ、最 モサムキ時節、 綿入 <small>ワタイレ</small> ワタライレ タルキモノ、 自ラ <small>オノツカ</small> シセ	體温 <small>タイオン</small> カラダノア タ、カミ、	傳 <small>ツタ</small> ハル 導力 <small>ミチビ</small> ザル 麻 <small>アサ</small> 導 <small>ミチビ</small> キ易ク 毛織 <small>ケオリ</small> ラシヤ、フラネ ルナドノコト、	據 <small>コ</small> 〔十八丁〕 木竹 <small>ボクチク</small> キヤ スエ サキ、 ホトンド タイ ガイ、	オホヒ ツバ 温 <small>ラン</small> アタ、 カミ、 性質 <small>セイシツ</small> モチ マヘ、 熱ク 金物類 <small>カナモノルイ</small> シヨ イ	膚 <small>ハダ</small> ハダ 人ノカラ ヤハラ 柔力 <small>ヤハラ</small> 快ケレ 防グ 人體 <small>ジンタイ</small> ヒトノ カラダ、	絹 <small>ルキヌ</small> 粗ナルマユヨリ紡ギ取り タル糸ニテオレルキヌ 太織 <small>フトオリ</small> フトオリ 粗ナル絹糸ニ テオレルキヌ 製造 <small>セイゾ</small> セイ ツ イ	甲斐絹 <small>カヒキ</small> 厚キキヌノオリモノ、綿、無地ノ品アリ、 甲斐ノ國郡内ヨリ製出ス(海氣トモカク) メイセン セイ ツ イ	縮緬 <small>チリメン</small> ヨリタル糸ニテオリ、後ニ 練リテチマセタルキヌ ナ、コ 織目、密ニ斜ニ打違ヒテ見ユ、小 キ粒ノ連ナルコト魚ノ子ノ如シ	賣高 <small>ウリダカ</small> 〔十七丁〕 ネリ ヤハラ カニシ、 染 <small>ソ</small> メ イロヲ ツケ、 機 <small>ハタ</small>	日光 <small>ニツコ</small> セノヒ カリ、 鍋 <small>ナベ</small> 生絲 <small>キイト</small> マユヨリ取りタルマ、 ニテネリアゲルイト、 輸出 <small>ユシユツ</small>	種紙 <small>タネガミ</small> 蠶卵紙 <small>サンランシ</small> 入用 <small>ニユーヨ</small> ヨリ 産出 <small>サンシユツ</small> コシラヘイ ダスコト、 眞 <small>マ</small>	年 <small>ネン</small> ツギノ トシ、 種紙 <small>タネガミ</small> 蠶卵紙 <small>サンランシ</small> 入用 <small>ニユーヨ</small> ヨリ 産出 <small>サンシユツ</small> コシラヘイ ダスコト、 眞 <small>マ</small>	綿 <small>ワタ</small> マユニテコシラ ヘタルワタ、 日光 <small>ニツコ</small> セノヒ カリ、 鍋 <small>ナベ</small> 生絲 <small>キイト</small> マユヨリ取りタルマ、 ニテネリアゲルイト、 輸出 <small>ユシユツ</small>	織り得 <small>オリエ</small> タル 綾 <small>アヤ</small> アヤヲオリイダ セル美シキキヌ 錦 <small>ニシキ</small> 五シキノ糸ニテ種々ノモヨ ヲオリイダセル、厚クシテ最モ	美シキ キヌ 斜子、又ハ七 子トモカク 甲斐絹 <small>カヒキ</small> 厚キキヌノオリモノ、綿、無地ノ品アリ、 甲斐ノ國郡内ヨリ製出ス(海氣トモカク) メイセン セイ ツ イ
---	--	--	--	---	---	--	--	--	---	---	--	--	---	--	--

散ズル チリウ 防グ理ニ合ヒ カナ 暑中 シヨチユ 夏ノウチ、最モアツキ時節、

中央 チュウオウ 諸山 シヨサン ソビエ タカク ワタレリ ツバイ

餘レリ アマ 〔千九丁〕 近邊 キンペン 平野 ヘイヤ 地味 チミ

能ク肥エ コ 西海岸 セイヤ 都會 トクワイ

全道 ゼンダウ 支配 シハイ 人民 ジンミン ツカサドル

役所 ヤクショ 北海道廳 ホクカイダウチョウ 根室 ネムロ 除ク外 ホカ 明治 メイジ

大方 オホカタ 蝦夷 エミシ 水産 スイサン 〔二十丁〕 海草 カイソウ

賞美 ショウビ 岩石 ガンシキ 帶 オビ 青黄 セイコウ 兩邊 リョウペン

帶ブ オビ 鳶色 トビイロ 青昆布 アヲコンブ 綠色 リョクシヨク

薄ク削リ ウスケツ サラシ サラシ 〔二十丁〕 富ミタレバ オホ

冬季 トウキ 自然 ゼン 繁殖スル ハンシヨク 風味 フイミ

好シ ヨシ 原料 ゲンリョウ 〔二十丁〕 山脈 サンミヤク 信濃 シナノ

甲斐 カヒ そびゆる タカクタチ 北の邊 キタ 一大川 ダイダウ

仙臺 センダイ 〔二十丁〕 市 シ 生茂リ オヒシゲ 阿武隈川 アブクマガハ

さか上る カハノカミ 養蠶 ヨウサン 田圃 デンボ 相摸、上總 サガミ

上野、下野 カウツケ 八個國 ハツカ またがれり ツバキワタ 古 イニシヘ

關門

クワンモン
セキシヨ
國ヲ守リカタムルタメノ門ニシテ、常トモイフ、ニタビビトラシラベサドスルトコロ

利根川

トネガハ
オーライ
ユキ、上リ、下リ、

下流

カリエー
シモ、カハ
そひて

湖水

コスイ
ウミ、

〔三十四丁〕

東

京灣

キヨワン
セイガン
西岸

横濱

貿易場

コーエキバ
外國人ト物ノウリカヒラスルトコロ、

横

須賀

スカ
ゲン
軍港

西隣

古き

江の嶋

鎌倉

ミナモトノヨリヨシ
源頼義

頼朝の墓所

古跡

源平の兩氏

ミナモトノミヨシヲナル人ト、タイラノミヨシヲナル人、

武を以て

ブゲイガデキ、カガツヨクアルワケ

勢を張り

イキホヒ
サカンニツ、

力を競ひ

アビタ、カ
相戦ひ

源氏

義朝

平氏

清盛

爲めに

方に

其ノトキ、マサシク、

〔三十五丁〕

伊豆の蛭嶋

今ノ三島宿ノ南方ニテ狩野川ニソヒタル處ナリトイフ、

義經

一門

ルイ、

いよく榮え

家人

以仁王

天皇及ハ皇子ノ御

又ハ姓ヲ賜ハラヌモノヲ王トス

仰せ

（合旨）

家人

フルクヨリ源氏ニツキシタガヘル人々、

語

らひ

トキス、メテ、ナカマニイレ、

旗を石橋山にあけ

ハタヲ石橋（石橋山ニテイ）山ニタテ、クサヲオコシ

打從へ

ひそかに

陸奥

時節を待ち

ヨキヲリヲマチ、

（イクサラハシメルニツゴノヨイジセツ）

はせのぼり

陣所

討手を仕

らんと乞ひたり

ヘイシヲウツヤクヲ、オホセツケラレタイト、ネガッタ、

〔二十六丁〕

東

國

源義仲

恐れて

都

立退き

攝津の

一の谷城 かまへ 須磨の浦 後 據り

たり 極めて けはしきかけ 鹿

ならでは 通ひがたき所 油断

兵士 置かざりき 料り知り

山路 越え 不意 火を放ち 軍

兵 急ぎ 打乗り 四國にの

がれ 讃岐の屋嶋 留りぬ 三十七丁

急に 押し 追ひおとし 長門の壇浦 圖

らず 奥州 下り 軍勢せめ寄せ

館 自害 役所 征夷大將軍

代 血筋たえ 臣下 さらけ

押し立て 數代 終に 返り

三十八丁 奪ひ 辭し 知し召し

染種 藍 種子蒔ケバ 二十九丁

室 ネカシオケバ 糊塊加

へ ソヘ、 供 ツナ フ ツカ 藍玉 アキダマ 藍氣 アキケ 染物 ソメモノ 色分 シヨクブン

鮮力 アサヤ ウツクシク、ハツ 阿波 アハ 外國 グワイコク 一種 イツシユ 紅花 ベニバナ

三十丁 コシラヘ 紅色 コシヨク 至 イタ リ テ 製法 セイホフ

着 ツ ケ ケ 化粧 ケシヨ 久留米 クヰルメ 布 ヌ

師 シ 許 モト 勉 ツト メ テ キ ハ メ

試 コ ミ ニ 屑糸 クヰイト 藍汁 アキシル

三十一丁 オ リ ア ガ 織 上 リ 細 コ カ 二 顯 アラ レ テ 珍 メ ラ シ 賞 シヨ

シ テ 雪降 ユキフリ 呼 ヨ ビ イ タ ク 珍重 チンチュウ シ タ リ

益 マス ハ ゲ ミ 工 フ 夫 増 マ

シ コ ニ イ ヨ ク 精 クハ シ ク ナ リ 就 ツ キ テ

教 ユキ 志 コ ダ ニ 固 カタ ケ レ バ 發 明 ハツ 駿 スル

成 ナ シ 三 十 二 丁 何 人 ナン モ ハ カ ル

河 ガ 灣 ワン 外 ソト 海 ウミ 入 イリ 海 ウミ 上 カミ 二 三 十 三 丁 越 後 エチ 注 ツ

グ ナ ガ レ 木 キ 曾 ソウ 川 ガハ 良 リ 米 マイ 濃 ノ 尾 ビ 周 シユ 回 クワイ

景色 ケシキ 佳 ヨ キ 八 個 ハツ 所 カ 近 ア 江 フ 八 ハツ 景 ケイ 離 ハ レ 舊 キユ

橋ノ歸帆、粟津ノ晴嵐、勢多ノ夕照、畿内、上流、三十四丁、離レ、舊

跡 <small>セキ</small> ムカシ ノアト、	鴨越 <small>ヒヨドリゴエ</small>	狭 <small>セマ</small> ク	播磨 <small>ハリマ</small>	安藝 <small>アキ</small>	嚴島 <small>イツクシマ</small>	湖 <small>ウシホ</small> ノ
滿 <small>ミ</small> ツル 海ノ水 ノマス、	宮殿 <small>キユーデン</small>	浮 <small>ウカ</small> ブ	風景 <small>フーケイ</small>	言語 <small>ゲンゴ</small>	幾株 <small>イクサバ</small>	
出雲 <small>イツモ</small>	大社 <small>オホヤシロ</small>	丹後 <small>タンゴ</small>	天橋立 <small>アマノハシダテ</small>	沙濱 <small>シヤヒン</small>	幾株 <small>イクサバ</small>	
相連 <small>アヒツラ</small> ナリ	三十五丁 <small>アイツ</small>	望 <small>ノゾ</small> メバ	稱 <small>シヨウ</small> セリ			
タカモ <small>チヨウ</small>	天然 <small>テンネン</small>	勝 <small>スグ</small> レテ佳 <small>ヨ</small> キ				
子孫 <small>シソン</small>	弱 <small>ヨワ</small> ク	強 <small>ツヨ</small> ク	大名 <small>ダイミヨウ</small>	末年 <small>マツネン</small>	互 <small>タガヒ</small> ニ	爭 <small>アラツ</small> ひ
亂 <small>ミダ</small> れ	英雄 <small>エイユウ</small>	互 <small>タガヒ</small> ニ	爭 <small>アラツ</small> ひ	戰 <small>セン</small>		
リテ大名又ハ小名トイヒキ。徳川氏ノ時代ニ至リテハ、領地、知行ノ持高一萬石以上ヲ大名トイヘリ、今ノ武家華族ハ即チ是ナリ、						

爭 <small>ツウ</small>	指 <small>サ</small> して	戰國 <small>センゴク</small>	三二十六丁	僅 <small>ワヅカ</small> シ	平 <small>ヘイ</small>
定 <small>テイ</small>	一戰 <small>イツセン</small>	大敵 <small>ダイテキ</small>	今川 <small>イマガハ</small>	揚 <small>ア</small> げ	上京 <small>ジョウキョウ</small>
して	破 <small>ヤブ</small> れ	修 <small>ユサ</small> メ	上下 <small>ジョウカ</small>	一 <small>イチ</small> 夜 <small>ヤ</small>	明 <small>アケ</small> 智 <small>チ</small> 光 <small>ミツ</small> 秀 <small>ヒデ</small>
勢 <small>セイ</small>	本 <small>ホン</small> 能 <small>ノウ</small> 寺 <small>ジ</small>	宿 <small>シユク</small> し	一夜 <small>イチヤ</small>	引 <small>ヒキ</small> 返 <small>カヘ</small> し	主 <small>シユジン</small> 人 <small>ジン</small>
おそはれて	家 <small>カ</small> 臣 <small>シン</small>	引 <small>ヒキ</small> 返 <small>カヘ</small> し	引 <small>ヒキ</small> 返 <small>カヘ</small> し	主 <small>シユジン</small> 人 <small>ジン</small>	主人 <small>シユジン</small>
仇 <small>アゲ</small>	報 <small>ムク</small> いたり	三十七丁	幼 <small>ヨウ</small> 名 <small>メイ</small>	諸 <small>シヨ</small> 方 <small>ホウ</small>	奉 <small>ホウ</small> 公 <small>コウ</small>
吉丸 <small>ヨシマル</small>	貧 <small>マツ</small> しかりしかば	諸 <small>シヨ</small> 方 <small>ホウ</small>	奉 <small>ホウ</small> 公 <small>コウ</small>	出世 <small>シユツセ</small>	
主人ヲトリテ、之ニツカヘルコト、	木下藤吉郎 <small>キノシダトウキチロウ</small>	草履取 <small>ゾウリトリ</small>	出世 <small>シユツセ</small>		

改め アヲタカ 功勞 コイロ 積み ツ 一方の大將 イツボイ

切從 キリシタガ 一統し イツト 請ひ コ

て ネガ 豊臣 トヨトミ 關白の職 クワンパク 朝鮮征伐 チヨウセン 朝 チヨウ

鮮 セン 加藤清正 カトウセイセイ 病みて ヤ 朝鮮征伐 チヨウセン

三十八丁 三河城主 ミカハ 屬して ヅク 戦死 センシ

自立せり ジリツ 用ふべきを知りて モチ

好しみ ヨ 納れて イ 和睦し ワ

たり ナカナホ 相つぎて アヒ 威勢 イセイ 秀頼 ヒデヨリ 尚 ナホ

三十九丁 石田三成 イシダ ね

たみ ウラヤミ 諸大名 シヨダイミ 兵をあげたり ヘイ

軍勢 グンゼイ 威力 イリヨク 念 ネン 絶ちたり タ

勧め ス 善く治まり ヨ 才智 サイチ 堪忍 カンニン さ

る故にや ユエ 四丁 シヨウ 寄りつどひ ヨリア

題 ダイ 發句 ホツク 氣質 キシツ 示 シメ

したり ミセ 鳴かぬ ナ 殺し コロ 見せう ミセ 氣質 キシツ

かくもあるべきか カヨニデモア 世ヲ渡ル ヨノナカヲスゴ

職業ヲ務メ 所得 貯フ 手ヲ懷ニ

シテ 漸々ニ 散リウセテ

必定ナリ マシテヤ 落チブル

身分 才能 〔四十一丁〕 繁榮 耕

シ 肥料ヲ施ス 用方 器具 造

方 上手 職工 志スベシ 附方 仕

入方 客ノ取扱方 覺エテ 心掛クベシ

一心ニ 勤ムル 太田孝次郎 遠方 商

家 往き 久しく 屢 故郷

〔四十一丁〕 安否 兩親 見舞へ

る 烈しく 相替らず 無事 道筋

はばかりながら 御安心 天保中

ノ事 打重ナリ 洪水 漸ク 不幸

朝夕ノ煙 幼年 薪ヲ採リ 柴ヲ

カリ 家ニ在リテ 僅ニ 親類共

打寄リ ウチヨ マリ、
相談 ソウダン ハナシヲシテコ
トヲキメルコト、
萬兵衛母の里 マンベエ ハ、ノ生レタ
イヘ(里方)、

元來 ゲンライ ヨリ、
吝嗇 リンシヨク カラクシ
ワキコト、
ナサケ ナサケ モノヲアハレム
コ、ロ(慈悲)、
四十四丁

ムゴク ムゴク アハレムコトナ
ク(無慈悲ニ)、
使ヒ ツカ イツスン
一寸ノ暇 イツマ スコシ
ノヒマ、
怨ミズ ウラ

日毎ニ ヒゴト マイ
ニチ、
油斷ナク ユダン オコタル
コトナク、
ツクづく ツクづく ヨクく心
ヲイレテ、
思 オモ

ヒメグラシ ヒメグラシ サマぐニ
カンガへ、
無學 ムガク ヨミカキノ
デキヌコト、
誠ニ マコト クチヲ
口惜シ

キ キ シイ、
荒地 アレチ アレハテ
タヂメン、
菜 ナ (油菜)、
種 タネ トーユ
燈油 トモシ アブラ、
夜毎ニ ヨゴト ニハトリ
鶏ノ鳴 ニハトリ

手助 テダスケ テツ
ダヒ、
無理 ムリ ミチニハツ
レタコト、
夜更ケテ ヨガフ ケテ、
鶏ノ鳴 ニハトリ

クオコサント クオコサント タテヨ
ウト、
起シ オコ ヒラ
キ、
稲苗 イネナヘ ヒロイ
拾ヒ

四十五丁 一俵餘 イツビョー イツビョー
アマリ、
粳米 モチゴメ モミノツキタ
ルマ、ノコメ、
依リテ ヨ

悦ビ ヨロコ カ
メイ
家名 イヘ ノナ、
厚ク アツ テイネ
イ、ニ、
禮ヲ述ベ レイ レイヲ
イヒ、
去リ サ

テ タチノ モト
イテ、
元立歸リ タチカヘ カベ
オ
壁落チ カベ シノギ
フセ
繕ヒ ツクロ

塗リ ナホ ホ
シ、
略 ホバ アラ
マシ、
民ノ産ヲ豊カナラシム タミ ユダ
ンダイ
百姓ノシ

追賞シ ツイシヨ ホメ(シンデノチ、其
テ、ノテガラヲホメ)
從四位 ジュシ イ
贈リ オク

卷八

三丁 淡路島 アハヂ シマ
瀬戸内 セト ウチ
(山陽道下四國
トノ間ノ内海)
のぞみ ムカ ヒ
太 タイ

平洋

山脈

わたりにて

下流

河口

(カハトウミトノサカヒ)

〔三三丁〕

徳島市街

藍鹽

都會

溫泉

地中ヨリワキイヅル湯

有名

横たはる

外

海

〔四丁〕

平原

田圃

良米

熊本

繁華

琉球

臺灣

近頃

譲りたる

廣さ

ほとんど

高千穂峰

天孫

瓊々杵尊

天降り

神代の古跡

天孫

岡

猛將

勇士

大軍

國威を揚げ

〔五丁〕

英雄

一統し

元勝

にほこりて

屬國

威服

使者を遣はし

書の辭

無禮

鎌倉の執權

北條時宗

〔六丁〕

追ひ

兵威を示して

發して

壹

岐對馬

筑前

寇せしめたり

返答

促し

首

こゝに於て

兵力

奪は

ん

決し

後宇多天皇

弘安

數千艘

二三千 ノフネ、	大船 ダイセン オホキ イフネ、	立海灘 ゲンカイナダ	博多 バカタ	過ぎ ス	押寄令 オシヨセ レイ ツ、
將士 シヨウシ 大将ヤ、 武士、	傳へ ツタ ゲンゲン モッコノ	元軍 ゲンゼン	追拂はしめ オビハラ	〔七丁〕	
勇み イサ キガス 、ミ、	國に報ゆる クニ ムシ	固め カタ マモ	退けば シリヅ	要害 ヨウガイ タイセツ ノバシヨ、 (我ニ要ニシテ、 敵ニ害アル義、	
山河ノ險阻ナル處ナド、スベテ敵ヲフセグニ便ナル地ノコトナリ、	固め カタ	退けば シリヅ	水陸の戦 スイリク タ、カヒ ウミ		
カトノ イクサ、	晝夜 チユウヤ ヒル ヨル、	草野七郎 クサノシチロ	波を破り風をおか ナミ ヤブ カゼ		
し 大ナミヲシノギ、大カゼヲシノギテ、フネヲス、メ、	敵船にせまり テキセン	火を放ち ヒヲ			
ヒラ ツケ、	殺傷し サツシヨ コロシ又ハ キズツケ、	河野通有 カウノミチアリ	船將 センシヨ フネノタ イシヨ	上ら ノボ	
ず カゼ ア	風荒れ ナミ オコ	浪起り ナミガ タチ、	おぼれて 水ニオ チテ、	乗じ ジョ	

ツケ コミ、	皆殺 ミナコロシ ノコラズコ ロスコト、	生かし イ	武勇 ブユ ツヨイ コト、	さしめ サホ ドニ、
猛き タケ ツヨ	うかどふ ネラ(ヨキトキヲミテ) フ、(トラウトスル)	念 ネン コ、	たち 思ヒ キリ、	
穴丁 アナヂョウ	あらび マレ、	浪怒り ナミイカ ヨクタチ、	鳴り ナ ナギ	倒 タフ
し ヨコサマニハ ラヒダフシ、	山をあざむく ヤマノヨ ニ大キナ、	立海灘の音高 ゲンカイナダ オトタカ		
く ゲンカイナダノナミノ オトノタカイヨニ、	とどろきわたる 世界中ニ知 レワタル、	我が武 ワ ブ		
名 メイ	用ヲ充タス ヨウ タス、	天然物 テンネンブツ	人工物 ジンコウブツ	自然 シゼン
オノツカラ、 ヒトリデニ、	生シ シヨ デキ、	細工ヲホドコシ サイク コマカキシゴ トラオコナヒ、	製造 セイゾ セイゾ	
ツクル コト、	職トスル シヨク スル、	〔九丁〕工業 コウギョウ 人工物ヲツ クルギョウ、	諸種ノ シヨシユ	

イロく	焼物 <small>ヤキモノ</small> セトモ	塗物 <small>ヌリモノ</small> ウルシニテヌ リタルモノ、	一キハ <small>ヒト</small> イチ ダン、	勝レ <small>スゲ</small>
タチ コエ、	陶器 <small>トウキ</small> モノ、	磁器 <small>ジキ</small> イシヤキノ スエモノ、 (イシヤキノ) (セトモノ)	石ノ粉 <small>イシノコ</small> イシノ コナ、	細 <small>コマカ</small>
ニクダキ	口ク口 <small>ロクログ</small> イノコト、	載セ <small>ノ</small>	廻シ <small>マハ</small>	指先素 <small>ユビサキ</small> ス
焼 <small>ヤキ</small> 〔十丁〕	成レバ <small>ナ</small> デキア ガレバ、	ウハグスリ	肥前 <small>ヒゼン</small>	
素焼ノ原料ニ多クノ長石ヲ 加ヘテ煉リタルモノナリ、	掛ケ <small>カ</small> ツケ、	繪 <small>エ</small> 是ニ於テ <small>コ、</small> デ、	肥前 <small>ヒゼン</small>	
アリ ノ有田	清水 <small>キヨミツ</small>	加賀ノ九谷 <small>カガタニ</small>	海外 <small>カイグワイ</small> (外國)、	著レ <small>アラハ</small>
タリ <small>知レワタツ テアル、</small>	重箱 <small>ジユウバコ</small>	硯箱 <small>スヅリバコ</small>	組ミ <small>ク</small>	漆 <small>ウルシ</small>
漆器 <small>シツキ</small>	金粉 <small>キンフン</small> キンノ コナ、 (キン)	山水 <small>サンスイ</small> 山ト水(川、池、湖、 海、タキナド)、	花鳥 <small>クワチヨウ</small> ハナト トリ、	花鳥 <small>クワチヨウ</small> ハナト トリ、
繪 <small>エ</small> 稱賛セリ <small>シヨウサン</small> テタ、	〔十一丁〕	平生 <small>ヘイゼイ</small> フダ	術 <small>ジュツ</small> ワザ、	歸 <small>キ</small>
朝 <small>チヨウ</small> 日本ニカ ヘルコト。	土石 <small>ドセキ</small> ヤキモノニツ カフ土石ヤ石、	畿内近傍 <small>キナインキンボウ</small> キョウトノ キンジョ、	モトメ <small>サガ</small> シ、	
意ニ適フ <small>イカナ</small> コ、ロニ カナフ、	タマ <small>ソノヲリ、</small> チヨウド、	古クヨリ <small>フル</small> ムカシ カラ、		
行キテ <small>ユ</small> カマド ヤキモノヲ、 ヤクカマ、	檢スルニ <small>ケン</small> アテタメ ミルニ、	東瀬戸山 <small>ヒガシセトヤマ</small>	善良 <small>ゼンリョウ</small> ヨイ コト、	
竈 <small>カマド</small> ヤキモノヲ、 ヤクカマ、	築キ <small>キツ</small> ツキタテ コシラへ、	質堅ク <small>シツカタ</small> モチマへ ガカタク、	價ヒクキ <small>アタヒ</small>	
ネダンガヤ スイコト、	之ヲ求ムルモノ <small>コレモト</small> ヤキモノヲ カフヒト、	子孫 <small>シソン</small> コヤ、 マゴ、	年代ヲ <small>ネンダイ</small>	
フルニ及ビ <small>オヨ</small> トシヲカサネ、 ヨヲヘルマ、ニ、	近郷 <small>キンゴウ</small> キンジョ ノムラ、	普ク海内ニ <small>アマネ</small> カイダイ		
行キワタリテ <small>ユ</small> ヒロク日本中ニ ユキワタリテ、	〔十二丁〕	總稱 <small>ソウショウ</small> ツイタ イノナ、	都 <small>ト</small>	

會 クワイ 大キナ マチ、 尤 モツト イチ 三府 サンフ 在りて ア 跨れり マダガ 官廳 クワンチョー

病院 ビョーイン ビョーニンノヤマ ヒラナホストコロ、 工場 コウジョウ シゴトバ、イロクノモノヲツクルトコロ、 公園 コウエン タレデモ、シユニアソブ

備はらざるはなく ソロツテキナイモノハナイ、 人家相並び ジンカアヒナラ

て 人ノイヘガ ツバイテ、 往來 オウライ ユキ、 機を織る ハダ オオリモノヲオル、 しげく オホク、

〔十二丁〕車馬の奔走 シヤバ ホンソウ クルマヤ、ウマノハシリユ

〔日夜たえず〕江戶改め ヒルモヨル モヤマナイ、 江戸 エド 改め アラタカヘ、 攝津 セツツ

安治川 溝渠 アヂカハ コーキョウ ホリ 運送 ウンソウ ハコビオクルコト、 便 ベン タヨリ、(ツガフ)、 商業の シヨギョウ

中心 チュウシン ショーバイラスルニツイテ、イチバンタイセツナルトコロ、 五港 ゴコウ イツツノミナト、 内外 ナイゲワイ 日本ト外國、 商品 シヨヒン

取引 トリヒキ ヤリトリ スルコト、 場所 バシヨ トコロ、 類 タグヒ さだめ キメ

〔十四丁〕宮居 ミヤノオ 天皇ノオスマヒ、 物産 ブツサン 織物 オリモノ 染物 ソメモノ 他所 タシヨ

の及ぶ所に非ず オヨ トコロ アラ ホカノトコロノオヨブトコロデハナイ、 賣買 バイバイ ウリカヒシ、 利益 リエキ

生計を営む セイケイ イトナ クラシノテ(クラシヲダテヲスル、(ダテル、) 算術 サンジュ ユツ カズヲカヅヘルワザ、 必要 ヒツヨウ

なる事柄 コトガラ タイセツナコトガラ、 能くわきまへ ヨシ 損失をまね ソンシツ

く ソシラ 時を考へて トキ カンガ 仕入 シイレ カヒ 肝要 カンヨウ タイセツ、 代物 シロモノ

〔十五丁〕入費 ニユーヒ 差引き サシヒ 賣捌く ウリサバ

内外 ナイゲワイ 日本ト外 便否 ベンビ ツゴノヨキトア さはむ ヨクシラベル、 貿易 ボウエキ コーエキ、

つまびらかにすること

コマカニシラベルコト

肝要

長崎

新潟函館

主とし

オモナルモノトシ

砂糖

〔十六丁〕

世

界平タク

實ハ

球

地球

全形

事

實海濱

出帆

（船ガホヲアゲテミナトヨリイデユクコト）

全體

（フネノソノタイ、ド）

遠ザカルニ隨ヒ

（トホクハナレニツレテ）

末

〔十七丁〕

小高キ

岡

行ク

尙シバラク

見難ク

海邊

アタカモ

橙ノ實

反對

見難ク

變ズル

容易ク

モドリテ

海邊

一周

眞直ニ

表面

周圍

〔十八丁〕

割合

王家

代ハル

國

號清條約

（條目ヲ立テ、ドリソク、キメタルヤクソク）

取り結ビ

重

ナル國を保ち

民をまゐる

缺

陸海の兩軍

（ワカノイクサニント、ウミノイクサニ）

萬一の事

（萬ニ一ツモアルベキ事變）

歩騎砲工輜重兵

別

〔十九丁〕

銃

執り徒歩して

乗りて

敵状をさぐ

長劍

敵陣

職とす

城

壁 ヘキ シロノイ 壘 ルキ トテ、(トリ) 糧食 リョウシヨク ヒョー 彈藥 ダンヤク タマヤ、エ 運 ハコ び

軍隊 グンタイ ヘイシ 不自由 フジユイ コマル 火夫 クワフ 水兵 スイヘイ 軍艦 グンガン イクサ

働 ハタラ く 蒸氣機械 ジョウキキカ 運轉 ウンテン ハコビウゴ 堅固 ケンゴ ショー(堅固ニシテタヤス) 骨とし ホネ

包み ツ、 張り ハ 然れども シカ 一條 イチジョウ 大同江 ダイトウカハ 打 ウチ

内外 ナイゲワイ ナカモ 鋼鐵 コウテツ ハガ 一 イチ 退げんと シツ 三十一丁 サンジウイチテイ 司令長官 シレイチョウクワン 決し ケツ からめ カラメ

野津中將 ノヅチュウジョウ 四面包圍 シメンホウイ 追拂 オビハラ 玄武門下 ゲンブモンカ

牡丹臺邊 ボタンダイヘン 追拂 オビハラ 玄武門下 ゲンブモンカ

て ウシロ、 追拂 オビハラ 玄武門下 ゲンブモンカ

せまり セマリ 城壁 シヨウヘキ 高くそびえ タカク

鐵門堅くとざして テツモンカタ 彈丸 ダンガン 射出 イダ 死力を盡く シリヨク

して シニモノゲル 彈丸 ダンガン 射出 イダ とかくする トカクスル

ほどこに カレコレス 三村幾太郎 ミムライクタロウ 一士官 イツシクワン 氷 コホリ

の如き刃 ゴト 大音 ダイオン 三十二丁 サンジウニテイ 城 シヨウ

壁指して ヘキサ 部下の兵卒 ゲカ 一言には イチゴン

げまされ ヒトコトニ 死を決して シ 一齊 イツセイ

不意に フイ 原田重吉 ハラダジュウキチ 潮のわくが如く ウシホ

キタルヨリニ
オソロシク、

銃口

同時

艦隊

伊東中

將十餘艘

ひきあて

勇をふるって

ユキヲ

迎へ「三十三丁」

うち沈め

力を併せ

チカラヲヒ
トツニシ、

無類

提督

兵器

我に納れ

我が軍ニ

將士

生命

自殺

覺り

和

を請ひ

土地を割き

償金

(イクサノイリヨ
ヲウメアハスカネ)

罪を謝したり

全く已み

元の

如く親しく交通する

御威徳

忠勇

チユウギノコ、ロフカ
クシテ、ツヨキコト、

「三十四丁」

錦繪の買入を頼む文

御無沙汰

出版

三拾組至

急

御廻送

相願候

代價

運賃

御報次第

通運會社

早達便

差立

送状

澁紙包

壹個

但在中

取調

次便

「二十五丁」

遠方

問屋

注文

注

文品

催促

電信

電氣

針金

(鐵ノハリガネヲ亞鉛
ニテツ、ミタルモノ)

符號 <small>フゴウ</small> シ、 顯シ <small>アヲハ</small> ミセ、	而シテ <small>シカ</small> シテ、	音信 <small>オンシン</small> リ、	通ズル <small>ツウ</small>
カヨハス、 「二十六丁」	取扱 <small>トリアツカ</small> フ	電信局 <small>デンシンキョク</small>	國々處々 <small>クニクニシヨク</small>
設ケ <small>モフ</small> ヘ、	局内 <small>キョクナイ</small> ノウチ、	遠近 <small>エンキン</small> ノ別 <small>ベツ</small> ナク	トホイトコロトチカイトコロトノワカチナクスベテ、
甲局 <small>コウキョク</small> 第一ノ役所、 或ル役所、	乙局 <small>オウキョク</small> 第二ノ役所、甲局ノホカノ役所、	マタ、クヒマ	メバタキラスルアヒダ、
仕掛 <small>シカ</small> ケタリ、	用 <small>ヨウ</small> ヲ辨 <small>ベン</small> ズル	タス、	急用 <small>キウヨウ</small> ヲ達 <small>ダツ</small>
セント	是 <small>コレ</small> ニ如 <small>シ</small> クモノナシ	ブモノハナイ、	兩 <small>リウ</small>
地ノ往復 <small>チオウフク</small>	料 <small>リョウ</small> チン	増ス <small>マ</small> 毎二 <small>ゴト</small>	マスタ ビニ、
「二十七丁」	言葉 <small>コトバ</small> 徒 <small>イダツ</small> ラニカサミ	ムエキニオホク (タカク)ナリ、	足 <small>タ</small> ラ

ザル <small>タリ</small> ナイ、	意味 <small>イミ</small> ワケ、	通ゼザル <small>ツイ</small>	恐 <small>オソレ</small> シシ	發 <small>ハツ</small>
スルニハ <small>イダス</small> ニハ、	用紙 <small>ヨウシ</small> デンシンヲカク ニツカフカミ、	言葉短二分り易 <small>コトバミジカ ワカ ヤス</small>	此處 <small>ココ</small> 、	彼處 <small>カシココ</small>
ク記 <small>シル</small> シ己 <small>オノ</small> が心 <small>ココロ</small> のままに	動物 <small>ドウブツ</small> 名稱 <small>メイシヨウ</small> ナ、	舉 <small>ア</small> げ難 <small>ガタ</small> し	魚類 <small>ギョルイ</small> ウヲノ タグヒ、	
總稱 <small>ソウシヨウ</small> して	鳥類 <small>チヨールイ</small> トリノ タグヒ、	獸類 <small>ジュールイ</small> ケモノノ タグヒ、	介類 <small>カイルイ</small> カタキコイヤ、カラ ラモテル、タグヒ、	
イヒタテ、 ガタイ、	類 <small>ルイ</small> ニ因 <small>ヨ</small> り	虫類 <small>チュールイ</small> ムシノ ルイ、	「二十八丁」	
具 <small>ソナ</small> ふ	全身 <small>ゼンシン</small> カラダノ コラズ、	毛 <small>ケ</small> を被 <small>ウフム</small> る	總 <small>ス</small> べて	ヒトツニ マトメテ、
以上 <small>イジョウ</small> は	外見 <small>ゲワイケン</small> ケ、	基 <small>モト</small> まて	分類 <small>ブンルイ</small> タグヒニヨリテ クベツスルコト、	
テタモノハ、	モトツ	シテ、		

事とする

ワザト

ツマビラカ

コトコ

内外

組立

カラダノウチツ

性

質

クワン

クセ、(ナラ)

二二十九丁

判断を下す

なり

キメルハデ

一種

ヒト(則類ノ中ニテ、別ニ異ナルモノ)

愚

非

智惠賢

く

道理明かにして

モノゴトノドオリ

萬物の上

位す

クラキ

タツ

身體

大略

頭

胸

四肢

手足

脳髓

頭ノ中ニアル、(灰カヒ色ノモノ)

物事

道理を明ら

め

ドーリヲハツキリ

苦樂

タルシミト

感ずる

胸

胸腹

二部

フタ

袋

乳垂れ

血

三十三丁

管

マロク、ホソナ

ガキモノ、

廻り

呼吸して

イキヲハキ又

新鮮にする

アタラシク、ア

ザヤカニスル、

不潔の血

ヨゴレ

鮮紅

胃

胃

わた

かまれる

イクヘニモマガ

咽

食物ノ入

すき汁を加へて

柔かにす

三十二丁

伸び縮み

ノビタリ、チ

甘き

消化して

消化して

消化して

消化して

小腸

ハラワタノ上ノトコロ、凡ツ

二尺五寸ホドヲ小腸トイフ、

苦き

甘き

消化して

消化して

消化して

乳汁

シル、

細キ

血中

養分

大腸

大腸

大腸

ツ五尺ホドヲ

大腸トイフ、

鯨

外形

胎生

胎生

胎生

胎生

成シテ

カタチガ

三十二丁

冷力

冷力

温力

温力

此ノ

理ヲ推シテモ コノワケカラ、オシカンガヘテモ、 魚ニ屬セズ ウヲノナカマニイラズ(ツカズ)、

獸ニ屬スル ケモノ、ナカマニイル(ツク)、 長大 チヨウダイ、ナガク、 孔ヲ具フ アナ、ソナ、

浮ブ ウカ、ウキア、ガ、 島 シマ、ニハカ、 俄ニワキ出ヅル チヨウダイ、ナガク、 水分 スイブン、ミツ、

齒 ハ、 小魚 シヨウギョ、チヒサ、イウヲ、 三十三丁 吞ミ込ム ノ、 口中 コウチュウ、クチ、

漉シ出シテ イダ、 止メン ト、 皮膚 ヒ、カハ、 厚サ一尺許 アツ、イツシヤクバカリ、

脂肪 シ、カタマリタ(アブ)、ルアブラ、(ラミ)、 燈油 トウユ、トモシ、アブラ、 脂肉 シ、ラミ、 俗ニ ゾク、セケ(セケン)、

鯨骨 クギラボネ、 彈力 ガンリョク、ハネカヘ(一旦曲グトモ、直チニモ)、ルチカラ、(トノ如クハネカヘルカ)、 強キ ツヨ、 到ル處 イダ、トコロ、ユクトコロ、ドコニモ、

海濱 カイヒン、ハマ、 オホムネ ダイ、 漁業 ギョギョ、ウヲ、クヂラナ、ドヲトルワザ、 有様 アリサマ、モヨ、

鰯 イワシ、 鮭 サケ、 鱈 カツラ、 薩摩 サツマ、 紀伊 キイ、 三十四丁 鯨獵 ゲイ、ヨ、クヂララ、トルコト、

恐ラクハ オソ、オホ、カタ、 マレナラン マレ、ナラン、カラウ、 獵スル リョウ、トル、 取 トリ、

圍ミ カコ、トリ、 代ル カ、カハリ、アヒテ、 投ゲ ナ、 非常ノ ヒ、ジョウ、ツネナミ、ナラス、

三十五丁 無難ニ ブ、ナシ(ナニゴト)、ニ、(モナク)、 獵師 リョウシ、 喜 ヨロコビ、 一方ナ ヒト、カタ、

ラズ ヒトトホリ、デハナイ、 繩 ナハ、 海邊 カイヘン、ウミ、 戰 タ、カヒ、 二勝チ ニ、カチ、 利得 リトク、リユ、 ウ ウ、

レバ ト、 七個村 シチカ、ムラ、 賑フ ニギハ、ハンジョウ、 手段 シユダシ、テダ、 近來 キンライ、

ウチ殺ス ウチコロス、 人間 ニンゲン、ヨノ、ナカ、 百般 ヒヤクバン、イロ、 實業 ジツギョウ、 供給 キョウキョウ、

重んず オモ、タイセツ、ニオモフ、 固より モト、 富を致す トミ、イダ、ユダ、カナ、

ルヨ一ニ、スル(金錢ナ) **根源** コンゲン モト、 **輸出** シユシユツ オクリ、イダス、 **三二十六丁** セイ 製

茶 チヤ 茶ヲセイ スルコト、 **養蠶** ヨ一サン カヒコヲ カフコト、 **従事する** ジユ一シ ワザヲ スル、 **勉めはげみ** ツト **安政** アンセイ (年ノ名)

て セイヲ **はからざるべからず** ダシテ、 カンガヘナク **安政** アンセイ (年ノ名)

伊藤小左衛門 イトーコサエモン **かたはら** アヒ **書を讀みて** シヨ ヨミテ、 ホンヲ

一段歩 イツタンブ 三百ツボ **茶園** チヤエン チヤバ **ならひて** マネヲ **三二十七丁** シテ、

試みに シニ、 **成績** セイセキ デキ **工女を雇ひ** コ一ジヨ ヤト イトラトル **手繰** テ グリ

品質 ヒンシツ シナ **損失を招きたり** ソンシツ マネ ソシテ、 **倦** ウ サ

精良なる セイリヨ一 シナガラノハ **製** セイ セイ

出して シヨツ ツクリイ **近郷** キンゴ一 チカキ **見聞し** ケンブン ミタリ、キ **蠶業** リンギヨ一 カヒコヲ

生時 セイジ イキテヲ **國家** コクカ 日本 **官** クワン ヤク **追賞** ツイシヨ一 ツイシヨ一

金員 キンイン カネ、 **賜はりたり** タマ **無用ノ費** ムヨ一 ツヒエ ムエキノ

萬一ノ變 マンイツ オモヒガケヌサイナ **凶年** キヨ一ネン コクモツ、ヤサイナドノ **遇ヒ** ア デア

落チブレ オ マツシクナリ、(ビ **衣食ニツマリ** イシヨク キモノモ、キガタク、 食物モエガタクナリ、

扶助 フジヨ タス **生活スル** セイイクワツ イキテタル **生命ヲ繫ク** セイメイ ツナ イノチヲ **耻** ハヂ ハヂ

幾分 イクブン **不時ノ變** フジ オモヒガケヌサイナ **三二十九丁** シ、 **慈善** ジセン アハ

用ニ供ス ヨ一 キヨ一 ヨ一ニ **積ミ置ク** ツ オ **手元** テ モト **郵便局** ユ一 ビンキヨク

本人	郵便貯金通帳	預ケ金	記シ	一度	利
子	計算シテ	組ミ込ミ	何時	乞	ヒ、
拂戻	勤勞シテ	オゴリ	用テツ		
ヅマヤカニシ	最初	僅少	一カ		
ド	達スル	塵積モリ			
味フベシ	〔四十丁〕	日根野備中守	彼		
ノ地	支度	ト、ノヒカネシカバ			
二三好某	頼リテ	黒田如水	銀百		

枚	借受ケ	歸朝	返金	往キ	折リ
フシ	鯛一尾	贈り越シタリ			
家來	三枚ニオロシ	手輕ナル	料理		
吸物	イト	〔四十一丁〕	客齋		
酒飯	進メ	〔四十一丁〕	禮ヲ述ベ		
イヤシミタリ	銀子	大切ナル	御		
返シ	進上	心得	且		
用	仕合	押シ戻シ	サトリ		耻ヂ

一統し ヒトツニス

嘉永 (年)

西洋各國

交易 コトエキ

品ト品ト互ニカヘ
テアキナヒスルコト、

請ひて ネガヒテ

止まらず

せまるに キビシクサイ

兵威を以てせんとしたり

幕府 徳川將軍ノ政ヲス

ルヤク (武家ノ政府ヲシヨ、(幕府トイフ、)

しりぞくる コト(アトヘヒ)ワル(カスル)

勅裁 天皇ノゴサダ

有

志の士 クニヲ思フ志ノアル人々

とがめ セメ

〔四十二丁〕

尊王

チヨートイヲダツ
トブコト、

攘夷 外國人ヲハラヒノクルコト、(トマエビストイヒタリ)

王室 天皇ノ(天皇ノ)御イヘ、(コト)

尊び グワイジン 外人を攘ひ 外國ノ人ヲハラヒ

討幕 徳川幕府ヲセイバツスルコト、

罪を討

ぜん ツミヲウチコラサン、

何時 ナニトキ

内亂 國內ノイケン

外寇 外國ノアガ

時勢

トキノイキホセ、
(ヨノナリユキ)、

慶喜 (ケイキトヨメ、其ノ方ワカリヤスシ)

國家の行末 ユクスエ 日本國ソータイノナリユキ、

考

禍 ワザハヒ

未發 オコラヌサキ

防がん

辭し コトワリ、(ヤメ)

政權

政ヲトリオコ
ナフチカラ、

返上し カヘシタテマツリ、

王政

維新 萬事アラタマリ(周舊邦ナリト雖テヨクナルコト、モ、其ノ命維レ新

ナリトイヘ
ル語ニ基ク、

親しく ゴジシン、

知し召し スベラサメタマヒ、

年號 トシ

國

を開きて ヒラキ

交通し コトツキ

彼の長ず チヨイ

る所 トコロ 外國人ノスグレ(ガクモン、キカイ)タトコロノモノ、(製造ノワザナド)

我が足らざる所 トコロ 日本人ノヨバヌトコロ、

補ふ オギナ

私有する シユウ

〔四十二丁〕

在り領

内 ナイ 領地ノウチ

施したり ホドコ

大名

藩 (藩トハカキネノコトナリ、大名ノ其ノ土地ヲシツメテ朝廷ノマモリト

ナルコト、猶カキネノ家ニ於ケルガゴトシ

藩主

ハシノアルシ、(トノ)

還し

均しく

オナシヨ一ニ、(イチヨ一ニ)

マツリゴト、アラ

政を仰ぐ

セイシヲタツトビウケル、

皆兵

士

丁年

ヘイエキ

兵役に服せしむる

ヘイツツノヤクメニツカセル

法

内外の變

コト

寇

學問

勸め

便

進歩

ホ一ニウツルコト、

うながされ

富國

強兵

帝國憲法

上下

モトモト、(ト)

陛下

天皇ノ御號ニソヘ奉リテ尊稱スルコトバ、又二人稱ノ代名詞ニモ用フ。

帝國憲法

基礎

固め

上、天皇ヨリ下、人民ニ至ルマデ、

遵奉す

おきて

基礎

固め

コク

國運

專横

大勝

四十五丁

安全に

過さしめん

惡

人

おかし苦しむる

外務、内務、大

藏、陸軍、海軍、司法、文部、農商務、遞信、諸省

内閣

總ふ

縣

區分し

道廳

總督

威名

輝かし

御恩

跡を追ひ

家業

營み

心安く

世渡り

生計

保護する

何ぞや

設け

政府

安寧

財産

四十五丁

安全に

過さしめん

惡

人

おかし苦しむる

外務、内務、大

藏、陸軍、海軍、司法、文部、農商務、遞信、諸省

内閣

總ふ

縣

區分し

道廳

總督

府フ 官廳クワンチョー 屬ゾクする 役人ヤクニン おびたゞしき

多タイイ、
要ヨウする カ、(モト)「四十六丁」 納ノウめ 納税ノウゼイの

義務ギム ゼイヲサ (義務トハゼヒトモセ子バ) 課クワする 租税ソウゼイ (土地ノアガ)

習シユ ナラ 家風カフウ イヘノナ 家族中カクチュウ 一家ノヤカ いやしめらる 違タガふ 慣クワン

習シユ ナラ 家風カフウ イヘノナ 家族中カクチュウ 一家ノヤカ いやしめらる 違タガふ 慣クワン

國體コクタイ クニ しりぞけられ オシノ 「四十七丁」

尋タヅぬ 天照大神アマテラスオホガミ 御孫瓊々杵尊オナムゴニギハヤヒ 劍鏡ツルギカガミ 御寶ミタカラ

詔ミコトノリして オホセ 豊葦原の瑞穂の國トヨアシハラ 日本ノムカシノ名 天津アマツ

日嗣ヒツギ 天皇ノオアト 榮サカえ ハンジヨ 天地テンチとききはまりな

るべし 天地トトモニイツマデモキハマルコ 宣ノタマへり オホセ 詳ツマビラカならざ

れども コトコマカニハワ 一系イツケイ ヒトツチスヂ、 違タガふ 御身オンミを節セツし

御身オンミノイリヨヲホドヨク (ヒカヘメニ)ナサレ、 宮室キユウシツ ゴテ ひまヒマくし ソマツニ 愛アイし アハレミ 授サツ

け 臣民シンミン 天皇ニツカヘ奉 愛國アイコクの心ココロ クニヲタイセツ 戰タカヒにのぞみ

來ライ ムカシ 捨スてて アトヘフリム 「四十八丁」 かへりみる クヘオツレル、 古コ

來ライ ムカシ 外國グワイコクのあなどり 外國ノ兵ノサグス 曾カツて チヨツ 萬世マンセイ

一系イツケイ イツマデモヒトツチ 皇室コウシツ 天皇ノ 君仁キミジンに 天皇ハ御メ 臣忠シンチュウなる

ケライハチユ
ギナル

あつく

萬國無比

多クノ國ノ中
ニナラビナキ

祖先以來

セシツヨリ
コノカタ

高大

無邊

恩波に浴す

フカク、ゴオンヲ
カウムリテアル

コフク

幸福

之に如かんや

コレニオヨブモノ
ハナイト云フコト

すべからく

ゼヒ
トモ

チ
智をみがき

チエラ
ツケ

徳を修め

トクラ
ソナヘ

勇を養ひ

ユーキ
ヲツケ

ハシエイ
繁榮

ハシ
期すべきなり

ゼヒサウシヨート
ツトムルガヨイ

修正新體讀本字解

尋常小學用終

明治三十年十二月二日印
同三十年十二月六日發行
同三十四年九月二十日訂正再版印刷
同三十四年九月廿四日發行

印刷行
印刷行
印刷行

定價金拾貳錢

著作發行
兼印刷者

東京市日本橋區本町三丁目十七番地
金港堂書籍株式會社

右社長

代表者

東京市下谷區龍泉寺町四百十四番地
原亮一郎

印刷所

東京市京橋區宗十郎町十五番地
會社 東京國文社

賣捌所

各府縣下特約販賣所



版權所有

文部省檢定 濟

金港堂書籍株式會社編輯

尋常算術教科書

兒童用全四冊定價

入門金拾五錢 卷一金拾五錢

卷二金拾五錢 卷三金拾八錢

教員用全四冊定價

入門金四拾錢 卷一金四拾錢

卷二金四拾錢 卷三金四拾錢

高等算術教科書

兒童用全四冊定價

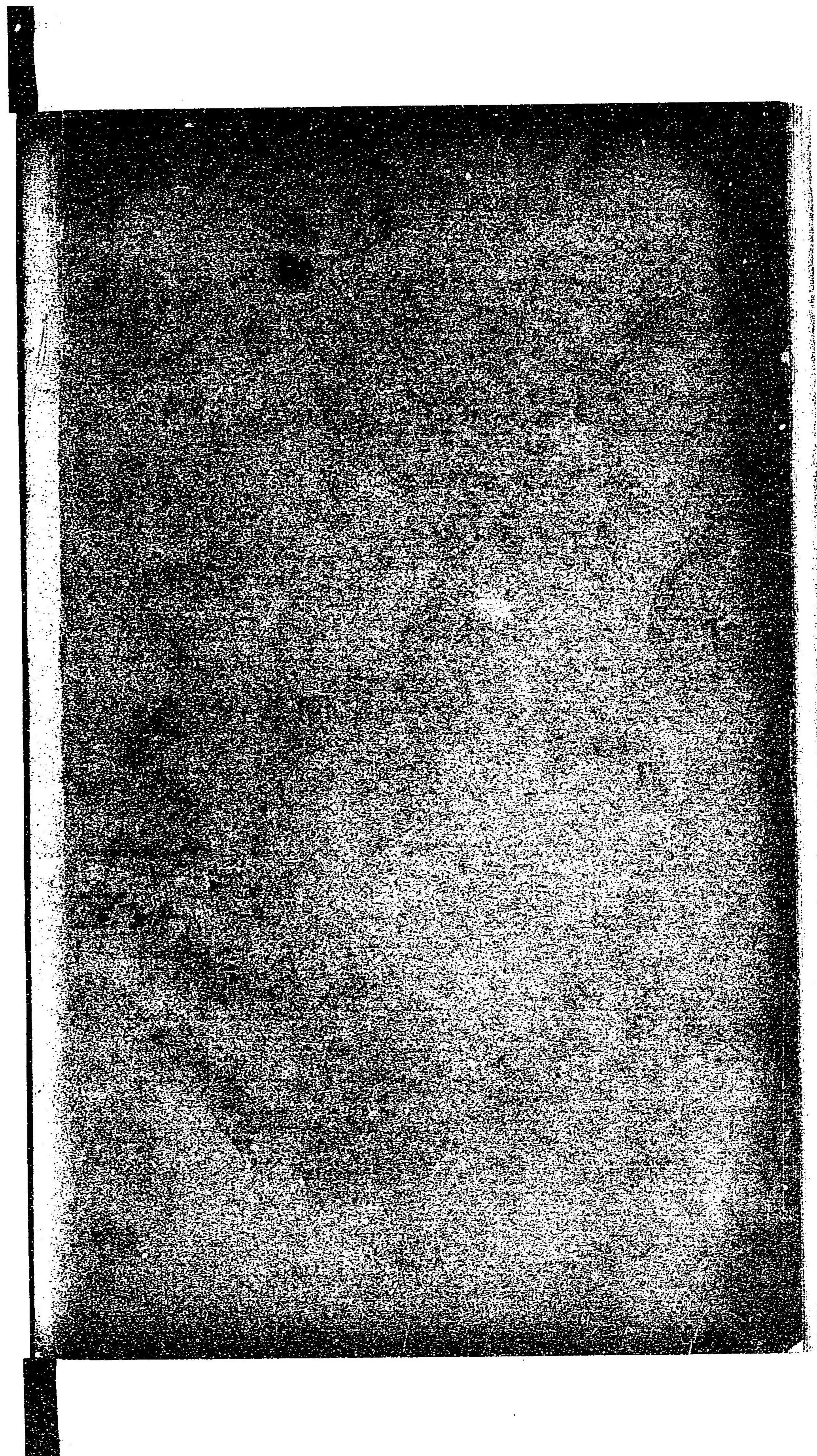
卷一金貳拾錢 卷二金貳拾五錢

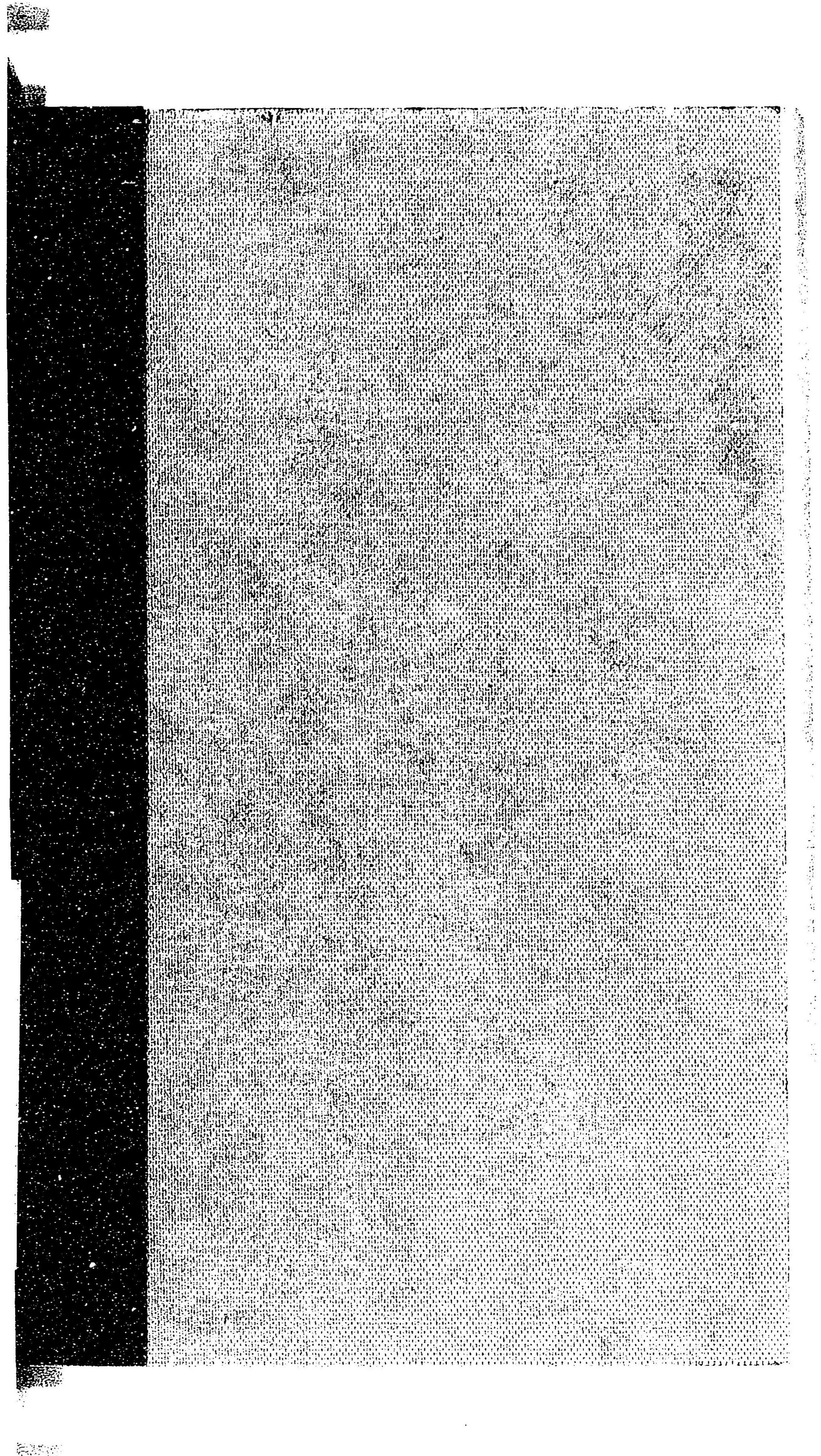
卷三金貳拾五錢 卷四金貳拾五錢

教員用全四冊定價

卷一金五拾錢 卷二金五拾錢

卷三金五拾錢 卷四金五拾錢





特 23

655

修正新体読本字解

国立国会図書館

049265-000-7

特 23-655

修正新体読本字解 尋常小学用

金港堂

M34

BEL-0273

